

4 教務関係

(1) 入学者、在籍者の状況

① 公益学部

(ア)男女別在籍者数（平成 27 年 5 月 1 日現在）

性別	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計
男	1 1 7	9 7	9 3	9 8	4 0 5
女	5 4	5 5	7 0	4 7	2 2 6
計	1 7 1	1 5 2	1 6 3	1 4 5	6 3 1

※休学者の数は在籍者の内数

(イ)出身地別在籍者数（平成 27 年 5 月 1 日現在）

出 身 地		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	計
山形県内	村山	3 6	4 6	3 2	4 3	1 5 7
	最上	1 0	1 2	5	8	3 5
	置賜	2 5	2 1	1 2	1 3	7 1
	庄内	5 4	3 5	5 6	4 2	1 8 7
	小計	1 2 5	1 1 4	1 0 5	1 0 6	4 5 0
山形県外	青森県	2	3	3	4	1 2
	岩手県	1 5	1 1	2 1	1 5	6 2
	宮城県	1 1	8	1 5	4	3 8
	秋田県	8	1 3	1 1	1 3	4 5
	福島県	7	1	3	3	1 4
	神奈川県	1	1	1		3
	東京都	1		1		2
	栃木県	1				1
	石川県			1		1
	新潟県			2		2
	中国		1			1
	小計	4 6	3 8	5 8	3 9	1 8 1
合 計		1 7 1	1 5 2	1 6 3	1 4 5	6 3 1

(ウ)退学・除籍・休学の状況（平成 26 年度）（平成 27 年 5 月 1 日現在）

学 年	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		計		累 計
退学者	1 0		6		0		4		2 0		2 8 8
除籍者	0		0		0		0		0		2 2
休学者	前期 0	後期 2	前期 1	後期 2	前期 0	後期 0	前期 1	後期 1	前期 2	後期 5	—

②公益学研究科

(ア) 男女別在籍者数 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

性別	修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年	合計
男	2	4		1	2	9
女	4	3			1	8
計	6	7		1	3	17

(イ) 出身地別在籍者数 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

出身地		修士 1 年	修士 2 年	博士後期 1 年	博士後期 2 年	博士後期 3 年
山形県内	村山		1			1
	最上		2			
	置賜					
	庄内	4	3			1
	小計	4	6		0	2
山形県外	東京				1	
	栃木					1
	広島	1				
	青森	1				
	小計	2	0		1	1
国外	中国		1			
合計		6	7		1	3

(ウ) 退学・休学の状況 (平成 26 年度)

学 年	修士課程	博士後期課程	計
退学者	0	1	1
除籍者	0	0	0
休学者	0	1	1

2014/6/17

		月				火				水				木				金				土			
		コード	科目名	教員名・教室	コード	科目名	教員名・教室	コード	科目名	教員名・教室	コード	科目名	教員名・教室	コード	科目名	教員名・教室	コード	科目名	教員名・教室	コード	科目名	教員名・教室			
1時限 9:00～ 10:30	2014年度 入学	1101	中国語Ⅰ①	福山 泰男, 202	2101	情報リテラシーⅠ①	廣瀬 美紀, 204	3101	現代公民論(スタンディー導入)	オムニバス, 301	4101	情報リテラシーⅠ①	廣瀬 美紀, 204	5101	情報リテラシーⅠ①	廣瀬 美紀, 204	6101	情報リテラシーⅠ①	廣瀬 美紀, 204	7101	情報リテラシーⅠ①	廣瀬 美紀, 204			
		1102	英語Ⅰ(基礎英語)①	佐藤 明子, 212	2102	情報リテラシーⅠ②	廣瀬 美紀, 205				4102	情報リテラシーⅠ②	山本 直実, 205	5102	情報リテラシーⅠ②	山本 直実, 205	6102	情報リテラシーⅠ②	山本 直実, 205	7102	情報リテラシーⅠ②	山本 直実, 205			
		1103	英語Ⅱ(リスニング)①	狩野 貴一, 211	2103	中国語Ⅰ②	狩野 貴一, 202				4103	英語Ⅰ(基礎英語)①	佐藤 明子, 203	5103	中国語Ⅰ②	福山 泰男, 202	6103	中国語Ⅰ②	福山 泰男, 202	7103	中国語Ⅰ②	福山 泰男, 202			
		1104	数学基礎Ⅰ(リメディアル)	沼中 智樹, 201	2104	英語Ⅱ(リスニング)②	狩野 貴一, 207				4104	英語Ⅱ(基礎英語)②	遠山 茂樹, 103	5104	中国語Ⅱ①	狩野 貴一, 211	6104	中国語Ⅱ①	狩野 貴一, 211	7104	中国語Ⅱ①	狩野 貴一, 211			
		1105	西洋史a【教員Ⅰ】	遠山 茂樹, 103	2105	西洋史a【教員Ⅰ】	遠山 茂樹, 104							5105	英語Ⅰ(基礎英語)②	寛本 昌, 207	6105	英語Ⅰ(基礎英語)②	寛本 昌, 207	7105	英語Ⅰ(基礎英語)②	寛本 昌, 207			
		1107	経済学・エネルギー論【教員Ⅰ】	古山 隆, 105	2107	情報リテラシーⅠ③	廣瀬 美紀, 204	3102	公民概論(公民専門)	オムニバス, 301	4101	情報リテラシーⅠ③	廣瀬 美紀, 204	5101	情報リテラシーⅠ③	廣瀬 美紀, 204	6101	情報リテラシーⅠ③	廣瀬 美紀, 204	7101	情報リテラシーⅠ③	廣瀬 美紀, 204			
	2014年度 以前入学	1108	英語Ⅱ(リスニング)②	佐藤 明子, 212	2108	中国語Ⅰ③	狩野 貴一, 202				4102	情報リテラシーⅠ④	山本 直実, 205	5102	情報リテラシーⅠ④	山本 直実, 205	6102	情報リテラシーⅠ④	山本 直実, 205	7102	情報リテラシーⅠ④	山本 直実, 205			
		1109	英語Ⅲ(基礎英語)①	狩野 貴一, 211	2109	英語Ⅱ(リスニング)③	狩野 貴一, 207				4103	英語Ⅱ(基礎英語)③	佐藤 明子, 202	5103	中国語Ⅱ②	福山 泰男, 202	6103	中国語Ⅱ②	福山 泰男, 202	7103	中国語Ⅱ②	福山 泰男, 202			
		1110	英語Ⅳ(リメディアル)	沼中 智樹, 201	2110	情報リテラシーⅠ④	廣瀬 美紀, 205	3103	データベース活用【情報特別基本】	西村まどか, 102	4105	英語Ⅲ(ライティング)①	狩野 貴一, 207	5106	行政学【政策基本】	和野 明子, 103	6106	行政学【政策基本】	和野 明子, 103	7106	行政学【政策基本】	和野 明子, 103			
		1111	英語Ⅳ(ディスカッション)①	ローウェン, 207	2111	情報リテラシーⅠ⑤	廣瀬 美紀, 204	3104	農作物科学【環境Ⅰ】	五十嵐啓治, 103	4106	共同の技法【共同基本】	塩井 亨, 204	5107	情報リテラシーⅠ⑤	山本 直実, 205	6107	情報リテラシーⅠ⑤	山本 直実, 205	7107	情報リテラシーⅠ⑤	山本 直実, 205			
		1112	地域福祉演習Ⅰ【福祉Ⅰ】	佐藤 明子, 212	2112	情報リテラシーⅠ⑥	廣瀬 美紀, 205				4107	社会福祉と公益【福祉基本】	オムニバス, 105	5108	海と島の民俗学	岸本 誠也, 105	6108	海と島の民俗学	岸本 誠也, 105	7108	海と島の民俗学	岸本 誠也, 105			
		1113	地域福祉演習Ⅱ【福祉Ⅱ】	佐藤 明子, 212	2113	情報リテラシーⅠ⑦	廣瀬 美紀, 204	3105	災害管理【教員Ⅰ】	伊藤 孝志, 210	4108	英語Ⅳ(ディスカッション)①	ローウェン, 203	5109	災害管理【教員Ⅰ】	伊藤 孝志, 209	6109	災害管理【教員Ⅰ】	伊藤 孝志, 209	7109	災害管理【教員Ⅰ】	伊藤 孝志, 209			
2時限 10:40～ 12:10	2014年度 入学	1201	英語Ⅲ(基礎英語)②	佐藤 明子, 212	2201	情報リテラシーⅠ⑧	廣瀬 美紀, 205	3201	庄内の文化(スタンディー導入)	早松 緑, 301	4201	情報リテラシーⅠ⑧	廣瀬 美紀, 205	5201	中国語Ⅲ①	佐藤 明子, 212	6201	社会福祉学a【教員Ⅱ】	志水 幸, 105	7201	社会福祉学a【教員Ⅱ】	志水 幸, 105			
		1202	英語Ⅳ(基礎英語)②	本間ひろみ, 208	2202	情報リテラシーⅠ⑨	廣瀬 美紀, 204				4202	情報リテラシーⅠ⑨	山本 直実, 205	5202	英語Ⅰ(基礎英語)③	佐藤 明子, 203	6202	英語Ⅰ(基礎英語)③	佐藤 明子, 203	7202	英語Ⅰ(基礎英語)③	佐藤 明子, 203			
		1203	英語Ⅳ(リスニング)④	狩野 貴一, 211	2203	中国語Ⅰ④	狩野 貴一, 202				4203	英語Ⅱ(基礎英語)④	本間ひろみ, 208	5203	英語Ⅱ(リスニング)④	佐藤 明子, 203	6203	英語Ⅱ(リスニング)④	佐藤 明子, 203	7203	英語Ⅱ(リスニング)④	佐藤 明子, 203			
		1204	健康科学【教員Ⅱ】	平松緑ほか, 103他	2204	英語Ⅱ(基礎英語)③	本間ひろみ, 203				4204	英語Ⅲ(リスニング)④	佐藤 明子, 202	5204	環境社会学【教員Ⅱ】	佐藤 明子, 203	6204	環境社会学【教員Ⅱ】	佐藤 明子, 203	7204	環境社会学【教員Ⅱ】	佐藤 明子, 203			
		1205	英語Ⅳ(リスニング)⑤	佐藤 明子, 212	2205	情報リテラシーⅠ⑩	廣瀬 美紀, 205	3201	庄内の文化(基礎英語)	早松 緑, 301	4201	情報リテラシーⅠ⑩	廣瀬 美紀, 205	5201	中国語Ⅲ②	佐藤 明子, 211	6201	中国語Ⅲ②	佐藤 明子, 211	7201	中国語Ⅲ②	佐藤 明子, 211			
		1206	中国語Ⅱ②	本間ひろみ, 208	2202	情報リテラシーⅠ⑪	廣瀬 美紀, 204				4202	情報リテラシーⅠ⑪	山本 直実, 205	5202	英語Ⅱ(基礎英語)④	佐藤 明子, 203	6202	英語Ⅱ(基礎英語)④	佐藤 明子, 203	7202	英語Ⅱ(基礎英語)④	佐藤 明子, 203			
	2014年度 以前入学	1207	英語Ⅳ(リスニング)⑥	狩野 貴一, 211	2203	中国語Ⅰ⑤	狩野 貴一, 202				4203	英語Ⅲ(リスニング)⑤	本間ひろみ, 208	5203	英語Ⅲ(リスニング)⑤	佐藤 明子, 203	6203	英語Ⅲ(リスニング)⑤	佐藤 明子, 203	7203	英語Ⅲ(リスニング)⑤	佐藤 明子, 203			
		1208	英語Ⅳ(リスニング)⑦	佐藤 明子, 212	2204	英語Ⅱ(基礎英語)④	本間ひろみ, 203				4204	英語Ⅳ(リスニング)⑤	佐藤 明子, 202	5205	基礎の生態学【基礎Ⅱ】	五十嵐啓治, 201	6205	基礎の生態学【基礎Ⅱ】	五十嵐啓治, 201	7205	基礎の生態学【基礎Ⅱ】	五十嵐啓治, 201			
		1209	英語Ⅳ(リスニング)⑧	佐藤 明子, 212	2205	英語Ⅲ(ライティング)①	狩野 貴一, 207	3203	情報デザイン論【情報特別Ⅱ】	西村まどか, 102	4205	基礎プログラミングⅠ①②③④	神谷 浩希, 101	5206	基礎プログラミングⅠ①②③④	神谷 浩希, 101	6206	基礎プログラミングⅠ①②③④	神谷 浩希, 101	7206	基礎プログラミングⅠ①②③④	神谷 浩希, 101			
		1210	英語Ⅳ(リスニング)⑨	佐藤 明子, 212	2206	基礎プログラミングⅠ⑤⑥⑦⑧⑨⑩	佐藤 明子, 203	3204	英語Ⅲ(ライティング)②	栗本 昌, 202	4206	基礎プログラミングⅠ⑤⑥⑦⑧⑨⑩	神谷 浩希, 101	5207	基礎プログラミングⅠ⑤⑥⑦⑧⑨⑩	神谷 浩希, 101	6207	基礎プログラミングⅠ⑤⑥⑦⑧⑨⑩	神谷 浩希, 101	7207	基礎プログラミングⅠ⑤⑥⑦⑧⑨⑩	神谷 浩希, 101			
		1211	英語Ⅳ(リスニング)⑩	佐藤 明子, 212	2207	英語Ⅳ(ライティング)②	佐藤 明子, 203				4207	英語Ⅳ(ライティング)②	佐藤 明子, 203	5208	英語Ⅳ(ライティング)②	佐藤 明子, 203	6208	英語Ⅳ(ライティング)②	佐藤 明子, 203	7208	英語Ⅳ(ライティング)②	佐藤 明子, 203			
		1212	英語Ⅳ(ライティング)③	佐藤 明子, 203	2208	英語Ⅳ(ライティング)③	佐藤 明子, 203	3205	英語Ⅳ(ライティング)③	佐藤 明子, 203	4208	英語Ⅳ(ライティング)③	佐藤 明子, 203	5209	英語Ⅳ(ライティング)③	佐藤 明子, 203	6209	英語Ⅳ(ライティング)③	佐藤 明子, 203	7209	英語Ⅳ(ライティング)③	佐藤 明子, 203			
3時限 13:00～ 14:30	2014年度 入学	1301	英語Ⅳ(ライティング)④	佐藤 明子, 203	2209	英語Ⅳ(ライティング)④	佐藤 明子, 203	3206	英語Ⅳ(ライティング)④	佐藤 明子, 203	4209	英語Ⅳ(ライティング)④	佐藤 明子, 203	5210	英語Ⅳ(ライティング)④	佐藤 明子, 203	6210	英語Ⅳ(ライティング)④	佐藤 明子, 203	7210	英語Ⅳ(ライティング)④	佐藤 明子, 203			
		1302	英語Ⅳ(ライティング)⑤	佐藤 明子, 203	2210	英語Ⅳ(ライティング)⑤	佐藤 明子, 203	3207	英語Ⅳ(ライティング)⑤	佐藤 明子, 203	4210	英語Ⅳ(ライティング)⑤	佐藤 明子, 203	5211	英語Ⅳ(ライティング)⑤	佐藤 明子, 203	6211	英語Ⅳ(ライティング)⑤	佐藤 明子, 203	7211	英語Ⅳ(ライティング)⑤	佐藤 明子, 203			
		1303	英語Ⅳ(ライティング)⑥	佐藤 明子, 203	2211	英語Ⅳ(ライティング)⑥	佐藤 明子, 203	3208	英語Ⅳ(ライティング)⑥	佐藤 明子, 203	4211	英語Ⅳ(ライティング)⑥	佐藤 明子, 203	5212	英語Ⅳ(ライティング)⑥	佐藤 明子, 203	6212	英語Ⅳ(ライティング)⑥	佐藤 明子, 203	7212	英語Ⅳ(ライティング)⑥	佐藤 明子, 203			
		1304	英語Ⅳ(ライティング)⑦	佐藤 明子, 203	2212	英語Ⅳ(ライティング)⑦	佐藤 明子, 203	3209	英語Ⅳ(ライティング)⑦	佐藤 明子, 203	4212	英語Ⅳ(ライティング)⑦	佐藤 明子, 203	5213	英語Ⅳ(ライティング)⑦	佐藤 明子, 203	6213	英語Ⅳ(ライティング)⑦	佐藤 明子, 203	7213	英語Ⅳ(ライティング)⑦	佐藤 明子, 203			
		1305	英語Ⅳ(ライティング)⑧	佐藤 明子, 203	2213	英語Ⅳ(ライティング)⑧	佐藤 明子, 203	3210	英語Ⅳ(ライティング)⑧	佐藤 明子, 203	4213	英語Ⅳ(ライティング)⑧	佐藤 明子, 203	5214	英語Ⅳ(ライティング)⑧	佐藤 明子, 203	6214	英語Ⅳ(ライティング)⑧	佐藤 明子, 203	7214	英語Ⅳ(ライティング)⑧	佐藤 明子, 203			
		1306	英語Ⅳ(ライティング)⑨	佐藤 明子, 203	2214	英語Ⅳ(ライティング)⑨	佐藤 明子, 203	3211	英語Ⅳ(ライティング)⑨	佐藤 明子, 203	4214	英語Ⅳ(ライティング)⑨	佐藤 明子, 203	5215	英語Ⅳ(ライティング)⑨	佐藤 明子, 203	6215	英語Ⅳ(ライティング)⑨	佐藤 明子, 203	7215	英語Ⅳ(ライティング)⑨	佐藤 明子, 203			
	2014年度 以前入学	1307	英語Ⅳ(ライティング)⑩	佐藤 明子, 203	2215	英語Ⅳ(ライティング)⑩	佐藤 明子, 203	3212	英語Ⅳ(ライティング)⑩	佐藤 明子, 203	4215	英語Ⅳ(ライティング)⑩	佐藤 明子, 203	5216	英語Ⅳ(ライティング)⑩	佐藤 明子, 203	6216	英語Ⅳ(ライティング)⑩	佐藤 明子, 203	7216	英語Ⅳ(ライティング)⑩	佐藤 明子, 203			
		1308	英語Ⅳ(ライティング)⑪	佐藤 明子, 203	2216	英語Ⅳ(ライティング)⑪	佐藤 明子, 203	3213	英語Ⅳ(ライティング)⑪	佐藤 明子, 203	4216	英語Ⅳ(ライティング)⑪	佐藤 明子, 203	5217	英語Ⅳ(ライティング)⑪	佐藤 明子, 203	6217	英語Ⅳ(ライティング)⑪	佐藤 明子, 203	7217	英語Ⅳ(ライティング)⑪	佐藤 明子, 203			
		1309	英語Ⅳ(ライティング)⑫	佐藤 明子, 203	2217	英語Ⅳ(ライティング)⑫	佐藤 明子, 203	3214	英語Ⅳ(ライティング)⑫	佐藤 明子, 203	4217	英語Ⅳ(ライティング)⑫	佐藤 明子, 203	5218	英語Ⅳ(ライティング)⑫	佐藤 明子, 203	6218	英語Ⅳ(ライティング)⑫	佐藤 明子, 203	7218	英語Ⅳ(ライティング)⑫	佐藤 明子, 203			
		1310	英語Ⅳ(ライティング)⑬	佐藤 明子, 203	2218	英語Ⅳ(ライティング)⑬	佐藤 明子, 203	3215	英語Ⅳ(ライティング)⑬	佐藤 明子, 203	4218	英語Ⅳ(ライティング)⑬	佐藤 明子, 203	5219	英語Ⅳ(ライティング)⑬	佐藤 明子, 203	6219	英語Ⅳ(ライティング)⑬	佐藤 明子, 203	7219	英語Ⅳ(ライティング)⑬	佐藤 明子, 203			
		1311	英語Ⅳ(ライティング)⑭	佐藤 明子, 203	2219	英語Ⅳ(ライティング)⑭	佐藤 明子, 203	3216	英語Ⅳ(ライティング)⑭	佐藤 明子, 203	4219	英語Ⅳ(ライティング)⑭	佐藤 明子, 203	5220	英語Ⅳ(ライティング)⑭	佐藤 明子, 203	6220	英語Ⅳ(ライティング)⑭	佐藤 明子, 203	7220	英語Ⅳ(ライティング)⑭	佐藤 明子, 203			
		1312	英語Ⅳ(ライティング)⑮	佐藤 明子, 203	2220	英語Ⅳ(ライティング)⑮	佐藤 明子, 203	3217	英語Ⅳ(ライティング)⑮	佐藤 明子, 203	4220	英語Ⅳ(ライティング)⑮	佐藤 明子, 203	5221	英語Ⅳ(ライティング)⑮	佐藤 明子, 203	6221	英語Ⅳ(ライティング)⑮	佐藤 明子, 203	7221	英語Ⅳ(ライティング)⑮	佐藤 明子, 203			
4時限 14:40～ 16:10	2014年度 入学	1401	英語Ⅳ(ライティング)⑯	佐藤 明子, 203	2221	英語Ⅳ(ライティング)⑯	佐藤 明子, 203	3218	英語Ⅳ(ライティング)⑯	佐藤 明子, 203	4221	英語Ⅳ(ライティング)⑯	佐藤 明子, 203	5222	英語Ⅳ(ライティング)⑯	佐藤 明子, 203	6222	英語Ⅳ(ライティング)⑯	佐藤 明子, 203	7222	英語Ⅳ(ライティング)⑯	佐藤 明子, 203			
		1402	英語Ⅳ(ライティング)⑰	佐藤 明子, 203	2222	英語Ⅳ(ライティング)⑰	佐藤 明子, 203	3219	英語Ⅳ(ライティング)⑰	佐藤 明子, 203	4222	英語Ⅳ(ライティング)⑰	佐藤 明子, 203	5223	英語Ⅳ(ライティング)⑰	佐藤 明子, 203	6223	英語Ⅳ(ライティング)⑰	佐藤 明子, 203	7223	英語Ⅳ(ライティング)⑰	佐藤 明子, 203			
		1403	英語Ⅳ(ライティング)⑱	佐藤 明子, 203	2223	英語Ⅳ(ライティング)⑱	佐藤 明子, 203	3220	英語Ⅳ(ライティング)⑱	佐藤 明子, 203	4223	英語Ⅳ(ライティング)⑱	佐藤 明子, 203	5224	英語Ⅳ(ライティング)⑱	佐藤 明子, 203	6224	英語Ⅳ(ライティング)⑱	佐藤 明子, 203	7224	英語Ⅳ(ライティング)⑱	佐藤 明子, 203			
		1404	英語Ⅳ(ライティング)⑲	佐藤 明子, 203	2224	英語Ⅳ(ライティング)⑲	佐藤 明子, 203	3221	英語Ⅳ(ライティング)⑲	佐藤 明子, 203	4224	英語Ⅳ(ライティング)⑲	佐藤 明子, 203	5225	英語Ⅳ(ライティング)⑲	佐藤 明子, 203	6225	英語Ⅳ(ライティング)⑲	佐藤 明子, 203	7225	英語Ⅳ(ライティング)⑲	佐藤 明子, 203			
		1405	英語Ⅳ(ライティング)⑳	佐藤 明子, 203	2225	英語Ⅳ(ライティング)⑳	佐藤 明子, 203	3222	英語Ⅳ(ライティング)⑳	佐藤 明子, 203	4225	英語Ⅳ(ライティング)⑳	佐藤 明子, 203	5226	英語Ⅳ(ライティング)⑳	佐藤 明子, 203	6226	英語Ⅳ(ライティング)⑳	佐藤 明子, 203	7226	英語Ⅳ(ライティング)⑳	佐藤 明子, 203			
		1406	英語Ⅳ(ライティング)㉑	佐藤 明子, 203	2226	英語Ⅳ(ライティング)㉑	佐藤 明子, 203	3223	英語Ⅳ(ライティング)㉑	佐藤 明子, 203	4226	英語Ⅳ(ライティング)㉑	佐藤 明子, 203	5227	英語Ⅳ(ライティング)㉑	佐藤 明子, 203	6227	英語Ⅳ(ライティング)㉑	佐藤 明子, 203	7227	英語Ⅳ(ライティング)㉑	佐藤 明子, 203			
	2014年度 以前入学	1407	英語Ⅳ(ライティング)㉒	佐藤 明子, 203	2227	英語Ⅳ(ライティング)㉒	佐藤 明子, 203	3224	英語Ⅳ(ライティング)㉒	佐藤 明子, 203	4227	英語Ⅳ(ライティング)㉒	佐藤 明子, 203	5228	英語Ⅳ(ライティング)㉒	佐藤 明子, 203	6228	英語Ⅳ(ライティング)㉒	佐藤 明子, 203	7228	英語Ⅳ(ライティング)㉒	佐藤 明子, 203			
		1408	英語Ⅳ(ライティング)㉓	佐藤 明子, 203	2228	英語Ⅳ(ライティング)㉓	佐藤 明子, 203	3225	英語Ⅳ(ライティング)㉓	佐藤 明子, 203	4228	英語Ⅳ(ライティング)㉓	佐藤 明子, 203	5229	英語Ⅳ(ライティング)㉓	佐藤 明子, 203	6229	英語Ⅳ(ライティング)㉓	佐藤 明子, 203	7229	英語Ⅳ(ライティング)㉓	佐藤 明子, 203			
		1409	英語Ⅳ(ライティング)㉔	佐藤 明子, 203	2229	英語Ⅳ(ライティング)㉔	佐藤 明子, 203	3226	英語Ⅳ(ライティング)㉔	佐藤 明子, 203	4229	英語Ⅳ(ライティング)㉔	佐藤 明子, 203	5230	英語Ⅳ(ライティング)㉔	佐藤 明子, 203	6230	英語Ⅳ(ライティング)㉔	佐藤 明子, 203	7230	英語Ⅳ(ライティング)㉔	佐藤 明子, 203			
		1410	英語Ⅳ(ライティング)㉕	佐藤 明子, 203	2230	英語Ⅳ(ライティング)㉕	佐藤 明子, 203	3227	英語Ⅳ(ライティング)㉕	佐藤 明子, 203	4230	英語Ⅳ(ライティング)㉕	佐藤 明子, 203	5231	英語Ⅳ(ライティング)㉕										

2 0 1 4 年 度 時 間 割

○後期ヤメスター

	コード	科目名	教員名、教室	コード	科目名	教員名、教室	コード	科目名	教員名、教室	コード	科目名	教員名、教室	コード	科目名	教員名、教室	入学期間	入学時期	備考
1時限 900～1030	2014年度 入学	1151'中国語Ⅱ①	山本 西美 205	2151'情報リテラシーⅣ④	廣瀬 実紀 204	3151'キャリア入門【キャリア基本】	オムニバス 301	4151'情報リテラシーⅡ①	廣瀬 実紀 204	5151'情報リテラシーⅡ①	広瀬 雄二 204					以上1年次配当	2014年度入学	
		1152'英語Ⅳ(スピーキング)①	ローウェン スチュワート 207	2152'情報リテラシーⅢ③	武市 義弘 205			4152'情報リテラシーⅡ⑧	山本 西美 205	5152'情報リテラシーⅡ⑤	神田 西秀 205							
		1153'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	2153'中国語Ⅲ⑦	流谷 周二 202					5153'中国語Ⅳ②	山本 西美 205							
		1154'英語Ⅲ(リーディング)②	狩野 貴一 208	2154'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	菅井マリ 211					5154'中国語Ⅳ③	流谷 周二 210							
	2014年度 以前入学	1155'社会科・地理科標準法Ⅱ【教科書】	西村 まどか 210	2155'英語Ⅳリスニング⑤	狩野 貴一 208	3152'情報交換戦略【情報特別基本】	西村 まどか 102	4153'英語Ⅳリーディング⑥前	佐藤 明子 202	5155'英語Ⅲリーディング④	栗本 昌 207					以上1年次配当		
		1156'社会科・地理科標準法Ⅱ【教科書】	西村 まどか 102	2156'地方自治と市民参加【政治】	花田 明子 203	3153'権利意識と成年後見制度【福祉Ⅰ】	住居 敬樹 104	4154'情報リテラシーⅡ⑧	佐藤 明子 202	5156'英語Ⅳリスニング⑤	オムニバス 203					以上2年次配当	2014年度以前入学	1時限 900～1030
		1157'情報処理特講Ⅱa【大学院発展】	武田 謙造 209	2157'海外リソース活用【環境Ⅰ】	古山 隆 105	3154'人権行動と安全【環境Ⅰ】	神田 西秀 103	4155'公益政策【政策Ⅰ】	オムニバス 105	5157'政策マネジメントと公益【政策基本】	オムニバス 103					以上3年次配当		
		1158'地域福祉実習Ⅲ【福祉Ⅱ】	武田 謙造 209					4156'相談援助実習Ⅲ【福祉Ⅱ】	小川 久恵 211	5158'社会科・公民科標準法Ⅱ【教科書】	中野 朋彦 211					以上3年次配当		
		1159'地域福祉実習Ⅳ【福祉Ⅱ】	武田 謙造 209							5159'ニューランドの社会福祉【福祉Ⅱ】	武田 謙造 105					以上3年次配当		
2時限 1040～1210	2014年度 入学	1251'英語Ⅳ(スピーキング)②	ローウェン スチュワート 207	2251'情報リテラシーⅡ⑧	竹村 南 204	3251'数学【数教Ⅲ】	松田 豊 212	4251'情報リテラシーⅡ⑧	廣瀬 実紀 204	5251'中国語Ⅳ①	流谷 周二 210	6251'社会福祉学Ⅱ【数教Ⅲ】	栗本 昌 104			以上1年次配当	2014年度入学	
		1252'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	2252'情報リテラシーⅡ⑦	武市 義弘 205	3252'数学の考え方【数理基礎】	西村 まどか 102	4252'情報リテラシーⅡ⑧	山本 西美 205	5252'英語Ⅲリーディング⑤	栗本 昌 207							
		1253'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	菅井マリ 211	2253'中国語Ⅲ⑦	流谷 周二 202	3253'天文学【数教Ⅲ】	山本 西美 205	4253'英語Ⅲリーディング③	佐藤 明子 202	5253'文化人類学【数教Ⅲ】	岸本 誠司 301							
		1254'英語Ⅲ(リーディング)①	狩野 貴一 208	2254'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	菅井マリ 211	3254'山地地質論【文系系共通】	渡辺 達規 105	4254'英語Ⅲリーディング⑦	山本 西美 205									
	2014年度 以前入学	1255'中国語Ⅳ②	流谷 周二 210	2255'情報リテラシーⅡ⑧	竹村 南 204	3255'英語Ⅲリーディング⑥	松田 豊 212	4251'情報リテラシーⅡ⑧	廣瀬 実紀 204	5251'中国語Ⅳ①	流谷 周二 210	6252'現代社会と福祉Ⅱ【基礎特許】	栗本 昌 104			以上1年次配当		2時限 1040～1210
		1256'中国語Ⅳ②	山本 西美 205	2256'情報リテラシーⅡ⑦	武市 義弘 205	3256'英語Ⅲリーディング⑥	山本 西美 205	4252'情報リテラシーⅡ⑧	山本 西美 205	5252'英語Ⅲリーディング⑤	栗本 昌 207							
		1257'英語Ⅳリスニング⑤	本郷ひろみ 206	2257'中国語Ⅲ⑦	流谷 周二 202	3257'天文学【数教Ⅲ】	山本 西美 205	4253'英語Ⅲリーディング③	佐藤 明子 202	5254'森林の保全と共生【基礎環境】	呉 尚志 103					以上2年次配当	2014年度以前入学	
		1258'英語Ⅳリスニング⑤	佐藤 明子 202	2258'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	菅井マリ 211	3258'英語Ⅳリスニング⑤	菅井マリ 211	4254'英語Ⅲリーディング⑦	山本 西美 205	5255'ビジネス中国語【外国語特別】	山本 西美 205					以上3年次配当		
		1259'英語Ⅳリスニング⑤	佐藤 明子 202	2259'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	菅井マリ 211	3259'英語Ⅳリスニング⑤	菅井マリ 211	4255'英語Ⅲリーディング⑦	山本 西美 205	5256'ビジネス中国語【外国語特別】	山本 西美 205					以上3年次配当		
		1260'英語Ⅳリスニング⑤	佐藤 明子 202	2260'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	菅井マリ 211	3260'英語Ⅳリスニング⑤	菅井マリ 211	4260'英語Ⅲリーディング⑦	山本 西美 205	5257'経済学と社会と平和【社会Ⅰ】	山本 西美 205					以上3年次配当		
3時限 1300～1430	2014年度 入学	1351'英語Ⅳ(スピーキング)①	狩野 貴一 208	2351'中国語Ⅲ⑦	流谷 周二 202	3351'中国語Ⅱ②	山本 西美 205	4351'英語Ⅲリーディング③	佐藤 明子 202	5351'英語Ⅲリーディング③	佐藤 明子 202	6351'英語Ⅲリーディング③	佐藤 明子 202			以上2年次配当	2014年度以前入学	3時限 1300～1430
		1352'英語Ⅳ(スピーキング)②	ローウェン スチュワート 207	2352'英語Ⅳ(スピーキング)②	西村 まどか 102	3352'英語Ⅳ(スピーキング)②	西村 まどか 102	4352'英語Ⅳ(スピーキング)②	西村 まどか 102	5352'英語Ⅳ(スピーキング)②	西村 まどか 102							
		1353'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	2353'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	3353'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	4353'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	5353'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207							
		1354'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	2354'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	3354'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	4354'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	5354'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207							
	2014年度 以前入学	1355'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	2355'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	3355'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	4355'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	5355'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207							
		1356'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	2356'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	3356'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	4356'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	5356'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207							
		1357'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	2357'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	3357'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	4357'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	5357'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207							
		1358'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	2358'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	3358'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	4358'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	5358'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207							
		1359'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	2359'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	3359'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	4359'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	5359'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207							
		1360'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	2360'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	3360'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	4360'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	5360'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207							
4時限 1440～1610	2014年度 入学	1451'英語Ⅳ(スピーキング)②	ローウェン スチュワート 207	2451'英語Ⅳ(スピーキング)②	ローウェン スチュワート 207	3451'英語Ⅳ(スピーキング)②	ローウェン スチュワート 207	4451'英語Ⅳ(スピーキング)②	ローウェン スチュワート 207	5451'英語Ⅳ(スピーキング)②	ローウェン スチュワート 207	6451'英語Ⅳ(スピーキング)②	ローウェン スチュワート 207			以上3年次配当	2014年度以前入学	4時限 1440～1610
		1452'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	2452'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	3452'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	4452'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	5452'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	6452'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207			以上3年次配当	2014年度以前入学	
		1453'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	2453'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	3453'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	4453'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	5453'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	6453'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207			以上3年次配当	2014年度以前入学	
		1454'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	2454'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	3454'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	4454'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	5454'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	6454'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207			以上3年次配当	2014年度以前入学	
	2014年度 以前入学	1455'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	2455'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	3455'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	4455'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	5455'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	6455'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207			以上3年次配当	2014年度以前入学	
		1456'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	2456'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	3456'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	4456'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	5456'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	6456'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207			以上3年次配当	2014年度以前入学	
		1457'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	2457'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	3457'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	4457'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	5457'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	6457'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207			以上3年次配当	2014年度以前入学	
		1458'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	2458'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	3458'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	4458'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	5458'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	6458'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207			以上3年次配当	2014年度以前入学	
		1459'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	2459'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	3459'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	4459'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	5459'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	6459'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207			以上3年次配当	2014年度以前入学	
		1460'英語Ⅳ(スピーキング)⑪	スチュワート 207	2460'英語Ⅳ(スピーキング)⑪	スチュワート 207	3460'英語Ⅳ(スピーキング)⑪	スチュワート 207	4460'英語Ⅳ(スピーキング)⑪	スチュワート 207	5460'英語Ⅳ(スピーキング)⑪	スチュワート 207	6460'英語Ⅳ(スピーキング)⑪	スチュワート 207			以上3年次配当	2014年度以前入学	
5時限 1620～1750	2014年度 入学	1551'英語Ⅳ(スピーキング)①	狩野 貴一 208	2551'中国語Ⅲ⑦	流谷 周二 202	3551'中国語Ⅱ②	山本 西美 205	4551'英語Ⅲリーディング③	佐藤 明子 202	5551'英語Ⅲリーディング③	佐藤 明子 202	6551'英語Ⅲリーディング③	佐藤 明子 202			以上2年次配当	2014年度以前入学	5時限 1620～1750
		1552'英語Ⅳ(スピーキング)②	ローウェン スチュワート 207	2552'英語Ⅳ(スピーキング)②	西村 まどか 102	3552'英語Ⅳ(スピーキング)②	西村 まどか 102	4552'英語Ⅳ(スピーキング)②	西村 まどか 102	5552'英語Ⅳ(スピーキング)②	西村 まどか 102							
		1553'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	2553'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	3553'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	4553'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	5553'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207							
		1554'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	2554'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	3554'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	4554'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	5554'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207							
	2014年度 以前入学	1555'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	2555'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	3555'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	4555'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	5555'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207							
		1556'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	2556'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	3556'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	4556'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	5556'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207							
		1557'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	2557'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	3557'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	4557'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	5557'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207							
		1558'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	2558'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	3558'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	4558'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	5558'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207							
		1559'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	2559'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	3559'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	4559'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	5559'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207							
		1560'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	2560'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	3560'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	4560'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	5560'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207							
6時限 1800～1930	2014年度 入学	1651'英語Ⅳ(スピーキング)①	狩野 貴一 208	2651'中国語Ⅲ⑦	流谷 周二 202	3651'中国語Ⅱ②	山本 西美 205	4651'英語Ⅲリーディング③	佐藤 明子 202	5651'英語Ⅲリーディング③	佐藤 明子 202	6651'英語Ⅲリーディング③	佐藤 明子 202			以上2年次配当	2014年度以前入学	6時限 1800～1930
		1652'英語Ⅳ(スピーキング)②	ローウェン スチュワート 207	2652'英語Ⅳ(スピーキング)②	西村 まどか 102	3652'英語Ⅳ(スピーキング)②	西村 まどか 102	4652'英語Ⅳ(スピーキング)②	西村 まどか 102	5652'英語Ⅳ(スピーキング)②	西村 まどか 102							
		1653'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	2653'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	3653'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	4653'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207	5653'英語Ⅳ(スピーキング)③	スチュワート 207							
		1654'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	2654'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	3654'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	4654'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207	5654'英語Ⅳ(スピーキング)④	スチュワート 207							
	2014年度 以前入学	1655'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	2655'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	3655'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	4655'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207	5655'英語Ⅳ(スピーキング)⑤	スチュワート 207							
		1656'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	2656'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	3656'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	4656'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207	5656'英語Ⅳ(スピーキング)⑥	スチュワート 207							
		1657'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	2657'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	3657'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	4657'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207	5657'英語Ⅳ(スピーキング)⑦	スチュワート 207							
		1658'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	2658'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	3658'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	4658'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207	5658'英語Ⅳ(スピーキング)⑧	スチュワート 207							
		1659'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	2659'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	3659'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	4659'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207	5659'英語Ⅳ(スピーキング)⑨	スチュワート 207							
		1660'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	2660'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	3660'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	4660'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207	5660'英語Ⅳ(スピーキング)⑩	スチュワート 207							

(3) 公益学研究科履修科目

2014年度 大学院時間割

時 限	月				火				水				木				金				土			
	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室	期	科目名	教員名	教室
1 時限 9:00 ～ 10:30	前				前				前				前				前				前	研究指導Ⅰ	澤邊 みさ子	11
	後				後				後				後				後				後	研究指導Ⅰ	澤邊 みさ子	11
2 時限 10:40 ～ 12:10	前	情報処理論	広瀬 雄二	酒田 204	前				前	演習Ⅱ	渡辺 曉雄	酒田	前				前	演習Ⅱ	和田 明子	酒田	前	プロジェクトⅠ (P4) ※ 公益学研究特殊講義f(地域活性化)	澤邊・武田 オムニバス	22 21
	後				後				後	演習Ⅱ	渡辺 曉雄	酒田	後				後	演習Ⅱ	和田 明子	酒田	後	公益社会デザイン※	オムニバス	21
3 時限 13:00 ～ 14:30	前	演習Ⅱ	神田 直弥	酒田	前	演習Ⅱ	呉 尚浩	酒田	前				前	演習Ⅰ	水田 健輔	酒田	前	公共経営論 プロジェクトⅠ (P1) ※ プロジェクトⅡ (P2) ※ 演習Ⅰ	出井 信夫 渡辺・松山 呉・伊藤・中原 温井 亨	22 酒田 酒田 酒田	前	論文作成法※	オムニバス	21
	後	演習Ⅱ	神田 直弥	酒田	後	演習Ⅱ	呉 尚浩	酒田	後				後				後	政策研究特論b (公民連携論) プロジェクトⅠ (P1) ※ プロジェクトⅡ (P2) ※	出井 信夫 渡辺・松山 呉・伊藤・伊原	22 酒田 酒田	後	公益社会デザイン※	オムニバス	21
4 時限 14:40 ～ 16:10	前	会計学【自由科目】	水田 健輔	酒田 103	前	特別セミナー(庄内経営者塾)	オムニバス	酒田 207	前				前				前	プロジェクトⅠ (P3) ※	澤邊・呉・小関	酒田	前	論文作成法※	オムニバス	21
	後				後				後				後	演習Ⅰ	國原 真理子		後	公益ビジネス特論a (社会起業家論) ※ プロジェクトⅠ (P3) ※	渡川 智明 澤邊・呉・小関	21 酒田	後	公益社会デザイン※ 公益ビジネス特論b (社会起業家論) ※	オムニバス 渡川 智明	21
5 時限 16:20 ～ 17:50	前	経済学【自由科目】	太田 正行	酒田 103	前	研究指導Ⅱ	高谷 時彦	11	前				前				前	公共政策論Ⅱ 研究指導Ⅲ	阿部 公一 出井 信夫	22 21	前			
	後				後	演習Ⅰ 研究指導Ⅱ	伊藤 真知子 高谷 時彦	酒田 11	後				後	障害者福祉論	澤邊 みさ子	22	後	政策研究特論d (社会保障・公的年金政策) 研究指導Ⅲ	阿部 公一 出井 信夫	22 21	後			
6 時限 18:00 ～ 19:30	前	地域デザイン論	高谷 時彦	11	前	公会計論 NPO・非営利組織論 環境マネジメント論※ 研究指導Ⅲ	水田 健輔 洪川 智明 古山 隆 高谷 時彦	22 21 中 11	前	演習Ⅰ 演習Ⅰ	伊藤 真知子 渡辺 曉雄 竹原 幸太 平松 緑	21 11 中 中	前	共創の技法※ 演習Ⅱ	温井 亨 澤邊 みさ子	21 酒田	前	基幹統計調査論Ⅰ ※ 演習Ⅱ	桑原 廣美 水田 健輔	21 22	前			
	後	演習Ⅰ 演習Ⅰ	高谷 時彦 渡辺 曉雄	11 21	後	地域活性化特論b (中山間離島地域) 演習Ⅰ 研究指導Ⅲ	オムニバス 温井 亨 高谷 時彦	22 21 11	後	公益社会デザイン※	オムニバス	21	後	公益組織体会計論 ソーシャル・キャピタル論 演習Ⅱ 演習Ⅱ	水田 健輔 小地沢 将之 澤邊 みさ子 武田 真理子	21 22 中 11	後	基幹統計調査論Ⅱ ※ 演習Ⅱ	桑原 廣美 水田 健輔	21 22	後			
7 時限 19:40 ～ 21:10	前	地域福祉特論a (地域福祉ネットワーク論) 演習Ⅰ	佐野 治 高谷 時彦	21 22	前	地域活性化特論d (地域プロジェクト論) 環境マネジメント論※ 演習Ⅱ	オムニバス 古山 隆 高谷 時彦	22 中 11	前	公共性の社会学	伊藤 渡辺	22	前	統計学 演習Ⅱ	山本 裕樹 武田 真理子	21 22	前	基幹統計調査論Ⅰ ※	桑原 廣美	21	前			
	後	環境科学特論a(食と農) 演習Ⅱ	平松 緑 高谷 時彦	22 11	後	地域活性化特論d (都市中心市街地) 社会調査論	高谷 温井 渡辺 曉雄	11 21	後	公益社会デザイン※	オムニバス	21	後				後	基幹統計調査論Ⅱ ※	桑原 廣美	21	後			

※印 期日指定型講義

東北公益文科大学大学院

(4) FD (ファカルティ・ディベロップメント)の開催状況

No.	開催日	内 容	参加者
1	5月14日	中期計画の振り返りと地(知)の拠点整備事業について	25
2	6月11日	入学前学習とプレイスメントテストの関連について	22
3	6月18日	地(知)の拠点整備事業について	28
4	7月9日	地(知)の拠点整備事業について	20
5	9月10日	クラウドポートフォリオの活用について(1)	20
6	9月10日	教職員の学生対応基礎研修(1)	20
7	9月17日	クラウドポートフォリオの活用について(2)	17
8	9月17日	米国の地方私立大学の経営問題とIRの活用	17
9	10月3日	ディベート研修(1)ディベートを知る	15
10	10月4日	ディベート研修(2)ディベートの実際・詳細を知る	9
11	10月8日	教職員の学生対応基礎研修(2)	12
12	11月12日	地(知)の拠点整備事業今後の進め方について	25
13	12月19日	風力コリドー学内説明会	15
14	2月25日	文部科学省「大学教育再生加速プログラム(AP)」への申請について	28
15	3月2日	平成26年度地域・大学協働人材育成プログラム成果報告会	18
16	3月2日	平成26年度地域・大学協働人材育成プログラムワーキンググループ会議	18
17	3月19日	入学前学習について	29
18	3月26日	地(知)の拠点整備事業次年度の計画について	20

(5) インターンシップ実施状況

No.	業種	企業・団体名	実習生人数
1	インフラ	酒田共同火力発電株式会社	2
2		酒田天然ガス株式会社	2
3	卸・小売	ネットヨタ山形株式会社	3
4		株式会社ハ文字屋 みずほハ文字屋	1
5		ブックバーン酒田北店	1
6		株式会社南東北クボタ	1
7		山形パナソニック株式会社	1
8	金融	SMBC日興証券株式会社 山形支店	2
9		株式会社荘内銀行	2
10		鶴岡信用金庫	1
11	サービス	NPO法人元気王国	2
12		酒田商工会議所	1
13		酒田第一タクシー株式会社	1
14		有限会社さとう写真企画	1
15		庄内観光コンベンション協会	1
16		庄内みどり農業協同組合	3
17		株式会社鶴岡自動車学園	2
18		出羽商工会	1
19		認定NPO法人IVY	2
20		株式会社モンテディオ山形	1
21	情報通信	株式会社エフエム山形	1
22		株式会社コミュニティ新聞社	2
23		株式会社ニゴロデザイン	1
24		株式会社山形テレビ	1
25	不動産・建設	株式会社東洋開発	4
26		株式会社佐藤工務	1
27		株式会社ブルー	2
28	医療	山形愛心会庄内余目病院	1
29	社会福祉	株式会社いわい	2
30		株式会社ひまわり	2
31		公益社団法人シャンティ国際ボランティア会	1
32		サポートセンターあおぞら	1
33		社会福祉法人さくら福祉会	1
34		天真幼稚園	1
35		特別養護老人ホーム桜木園	1
36		養護老人ホーム鶴岡市立友江荘	1
37	官公庁	一関市役所	1
38		酒田市役所	5
39		酒田地区広域行政組合 消防本部	1
40		新庄市役所	3
41		大仙市役所	1
42		鶴岡市役所	2
43		天童市役所	2
44		東北地方整備局 酒田河川国道事務所	1
45		東北地方整備局 酒田港湾事務所	2
46		西川町役場	1
47		三川町役場	1
48		むつ市役所	1
49		村山市役所	1
50		河北町役場	1
51		山形県	1
52		山形県置賜総合支庁	1
53		山形県村山総合支庁	1
54		山形市役所	1
55		由利本荘市役所	1
56		横手市役所	1
57		米沢市役所	1
58	社長インターンシップ	秋山鉄工株式会社	1
59		株式会社ウエノ	1
60		酒田第一タクシー株式会社	1
61		株式会社 ブルー	2
62		株式会社マリーン5清水屋	1
63		株式会社山本組	1
64		湯野浜温泉 亀や	1
		合計	92

(6) オフィスアワーの実施状況

2014年度前期オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	
1 時限 9:00~10:30			平尾 清	I-1							
2 時限 10:40~12:10			平松 緑	B-5	松田 憲 温井 亨	I-4 G-3	松山 薫	C-2			2 時限
3 時限 13:00~14:30	和田 明子 狩野 晃一 西村 まどか 斉藤 徹史	B-2 H-2 B-4 I-3	伊藤眞知子 遠山 茂樹 鎌田 剛 水田 健輔 白旗希実子	F-3 E-5 E-4 C-4 I-2			神田 直弥 森 彰夫	F-4 C-5			3 時限
4 時限 14:40~16:10	呉 衛峰 小関 久恵 山本 裕樹 佐野 治	F-2 H-3 I-5 A-1	古山 隆 菅井マリー 竹原 幸太	E-1 G-4 H-4			呉 尚浩	A-2			4 時限
5 時限 16:20~17:50	阿部 公一 内藤 悟	H-5 C-2	武田真理子	E-2			出井 信夫 澤邊みさ子	A-5 A-4	広瀬 雄二	B-3	5 時限
6 時限 18:00~19:30							國眼眞理子 杉山 肇 渡辺 暁雄	G-5 D-5 H-1			6 時限

平成26年度（2014年度）後期オフィスアワー日程

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	教員名	研究室	
1 時限 9:00～10:30			平尾 清	I-1							
2 時限 10:40～12:10			平松 緑	B-5	温井 亨	G-3	松山 薫	C-2			2 時限
3 時限 13:00～14:30	澤邊みさ子 和田 明子 西村まどか 狩野 晃一	A-4 B-2 B-4 H-2	伊藤真知子 遠山 茂樹 松田 憲 鎌田 剛 竹原 幸太 白旗希実子	F-3 E-5 I-4 E-4 H-4 I-2	/		森 彰夫 神田 直弥 斉藤 徹史	C-5 F-4 I-3			3 時限
4 時限 14:40～16:10	呉 衛峰 佐野 治 山本 裕樹 小関 久恵	F-2 A-1 I-5 H-3	水田 健輔 古山 隆 菅井マリー	C-4 E-1 G-4			呉 尚浩	A-2			4 時限
5 時限 16:20～17:50	阿部 公一 内藤 悟	H-5 C-2	武田真理子	E-2	/		出井 信夫	A-5	広瀬 雄二	B-3	5 時限
6 時限 18:00～19:30							杉山 肇 國眼真理子 渡辺 暁雄	D-5 G-5 H-1			6 時限

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	学長 吉村 昇				
1 専門分野、研究テーマ	基礎電気工学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別)					
(1) フェライトモーション・コントロールによる余剰汚泥の減容化		平成26年4月	「電気学会論文誌D」	131巻 4号 475頁～ 476頁	
(2) フェライト粒子のモーションコントロールによる微生物の殺菌効果		平成26年11月	「電気学会論文誌A」	134巻 11号 604頁～ 609頁	
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表					
(1)電気泳動処理後のタンパク質を対象としたTHz波による非染色可視化技術の構築		平成26年3月	電気学会全国大会講演会論文集		
(2)複合体の誘電特性に関する研究		平成26年9月	第38回静電気学会全国大会		
(3)電気泳動処理後の生体物質を対象としたTHz波イメージング技術の構築		平成26年9月	センサ工学研究会		
8 その他					
(1)特許 イ. 歩行環境シミュレータ		平成26年4月			特許第5514640号
ロ. Temperature Measuring Method Using Temperature-Sensitive Magnetic Substance		平成26年9月			US Patent No. 8801280132

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員／委員長等)
(1) 県・市町村の委員会	鶴岡市食文化創造都市推進協議会	平成 26 年 4 月～	委員
	つるおか農商工連携総合推進協議会	平成 26 年 4 月～	委員
	酒田希望音楽祭実行委員会	平成 26 年 5 月～	顧問
(2) その他	生涯学習施設「里仁館」独立行政法人大学評価・学位授与機構機関別認証評価委員会	平成 26 年 4 月～ 平成 26 年 5 月～	名誉館長 専門委員
	地域づくり山形景観賞委員会	平成 26 年 7 月～	選考委員
	一般財団法人秋田経済研究所	平成 24 年 5 月～	理事
	国立大学法人秋田大学	平成 26 年 4 月～	学事顧問

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 玉本英夫				
1 専門分野、研究テーマ	計算機工学、				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別)					
1. 学習者中心のインタラクティブ舞踊学習支援システムの開発、査読有	共著	2014 年 5 月	電子情報通信学会論文誌(D)、Vol.J97-D, No.5,pp.1014-1023		貴重な文化財である民俗芸能の舞踊の伝承に資するため舞踊の自習を支援するシステムを VR 技術により構築した。
2. A Hybrid Approach to Keyframe Extraction from Motion Capture Data Using Curve Simplification and Principal Component Analysis, 査読有	共著	2014 年 9 月	IEEJ Trans. on Electronics, Information and Systems (Letter), Vol.9, No.6, pp.697-699.		モーションキャプチャデータから踊りのキーフレームを抽出するための手法を提案した、本手法を用いると高速に適切な数のキーフレームを自動的に抽出できる。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表					
1. Coupled Motion Capture and Text Analysis of the Bon Odori Dances of Akita Prefecture, 「人文科学とコンピュータ」シンポジウム 2014, 査読有	共著	2014 年 12 月	情報処理学会シンポジウムシリーズ Vol. 2014, No.3, pp.23-30, 人文科学とコンピュータシンポジウム論文集		秋田県の 3 大盆踊(一日市、毛馬内、西馬音内)を, MoCap データによる定量的特徴量と解説書に現れる特徴を表す言葉の出現頻度を用いて、解析した。その結果、一日市盆踊に特有の特徴がわかった。
2. Coupled Motion Capture and Text Analysis of Japanese Folk Dance, ACM SIGGRAPH ASIA 2014(Poster Session), 査読有	共著	2014 年 12 月			近年、民俗芸能の踊りの動きが MoCap データで解析されている。一方、踊りを歴史や現状を解説したレポートが数多くある。踊りの理解が深めるために、MoCap データと文書を結びつけて解析することを試みる。
3. VR 環境を活用した三味線の撥さばき自習システムの開発と学習者の評価、第 19 回日本バーチャルリアリティ学会大会、査読なし	共著	2014 年 9 月	日本バーチャルリアリティ学会大会論文集, pp.216-219		VR 技術を用いて、三味線の撥さばきの自習システムを開発し、その効果を評価した。
4. AR 技術を使用した舞踊の学習体験システムの開発、平成 26 年度電気関係学会東北支部連合大会、査読なし	共著	2014 年 8 月	平成 26 年度電気関係学会東北支部連合大会論文集, 1D06		民俗芸能の舞踊の伝承に資するために、AR 技術を用いて舞踊の学習体験システムの開発を行った。

5. ヘアシミュレータのための Kinect を用いた頭部 3D モデル生成手法の研究, 平成 26 年度電気関係学会東北支部連合大会	共著	2014 年 8 月	平成 26 年度電気関係学会東北支部連合大会論文集, 1H05		美容師が前もって髪型をお客に提示すること支援するために, 簡易型のヘアシミュレータを開発した.
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他 (特許公開) 1. 身体動作学習支援装置 2. コマ分割装置及びコマ分割プログラム	共同出願 共同出願	2014 年 7 月 2014 年 8 月	特開 2014-133015 特開 2014-149563		

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会			
② その他		H 年 月～H 年 月	

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 平松 緑				
1 専門分野、研究テーマ	神経化学、 庄内産最上紅花の研究				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 題目：『スポーツと活性酸素』	単	2015	腎臓（雑誌名）	9-11	総説（依頼原稿）
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） （名称）					
4 研究ノート （名称）					
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 題目：Antioxidants of free radical scavenger may induce anti-aging effects	単	2014	The 5 th Interna- tional Conference on Nutrition and Physical Activity on Aging, Obesity and Cancer	Abstract p27	招聘講演
8 その他 ① 一般書物 本の題目：『もの忘れが増えたら！脳ストレッチ』 題名：『カテキン』	単	2015年1月	主婦の友社	72	依頼原稿
② 地域での講演（題目） 三種町観光協会視察研修会 『紅花の効用について』	単	2014年6月26日	秋田県三種町観光協会		依頼講演
酒田市民大学講座『これからの「食」から新たな魅力を発見』	単	2014年7月31日	酒田教育委員会		依頼講演
第30回山形県内13クラブ合同セミナー『紅花の効用で美しく健康に生きる』	単	2014年10月5日	国際ソロプチミスト酒田		依頼講演
③ コメンテーター 子供たちとつくる平和の文化フォーラム	単	2014年10月19日	創価学会「子どもたちとつくる平和の文化フォーラム」酒田実行委員会		依頼
④アドバイザー マレーシアプトラ大学研究打ち合わせ	単	2015年2月11日～15日	株式会社機能性食品開発研究所		依頼
⑤招聘報告会 公益財団法人がん治療研究振興財団第26回研究報告会	単	2015年3月6日			招聘
⑦第10回山形県高校生ものづくりコンテスト化学分析部門		2014年6月	山形県高校長協会		審査委員長（依頼）

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会 山形県庄内地域	庄内地域保健医療協議会	～H27 年 10 月 31 日	委員 (会議：H27.3.4)
② その他 公益財団法人やまがた農業支援センター 日本てんかん学会 日本神経化学界 老化促進モデルマウス(SAM)研究協議会 日本脳研究会 グアニジノ化学物研究会 日本酸化ストレス学会	やまがた農産物安全・安心取引認証審査委員会 評議委員会 評議委員会 評議委員会 理事・評議委員会 評議委員会 評議委員会	～H27 年 3 月 31 日 ～現在に至る ～H29 年総会 ～現在に至る ～現在に至る ～現在に至る ～現在に至る	審査委員会副会長 (会議：H27.3.20) 評議委員 評議委員 評議委員 理事・評議委員 評議委員 評議委員

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名		教授 國眼 眞理子				
1 専門分野、研究テーマ		教育心理学・青年心理学・キャリア心理学				
		単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』						
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） （名称）						
4 研究ノート （名称）						
5 資（史）料 （名称）						
6 翻訳 （名称）						
7 学会発表						
①「キャリア発達・教育に関する研究（15）－大学生の進路選択における保護者の関わり－」		共著 （筆頭）	2014	日本教育心理学会 第 56 回総会 発表論文集	p. 454	職業未決定尺度を用いて、「日常の保護者とのかわり」や「就職活動中の保護者とのかわり」を検討した。
② キャリア発達・教育に関する研究（16）－進路決定における重要な他者およびその影響－		共著	2014	日本教育心理学会 第 56 回総会 発表論文集	p. 455	医療系学生を対象に進路決定に影響を及ぼした重要な他者および職業的アイデンティティの様相、ライフコースについて検討。
③「キャリア発達・教育に関する研究（17）－職業志望動機と専門性・コミュニケーションとの関係－		共著	2014	日本教育心理学会 第 56 回総会 発表論文集	p. 456	就職活動において近年その重要性が指摘される「コミュニケーション能力」についての自己評価と職業選択との関連を検討した。
8 その他						
① 専門誌						
② 研究調査報告書 「平成26年度大学まちづくり政策形成事業 ～酒田市における家庭教育支援に関する調査研究～」報告書		共著	2015. 2	酒田市（委託研究）	p. 1～3 p. 4～5 p. 49	本調査研究の目的と活動状況 調査方法 次年度の調査研究に向けて
③ その他						
1)「お手伝い」		単著	平成26年5月 （2014）～ 平成27年3月 （2015）	「私の街さかた」 酒田市広報誌コラム 『酒田っ子すくすく』	600 字/ 回	お手伝いという経験が育てる規範意識について
2)「おかあさんは神様ではありません」		単著				いつでもどこでも笑みを絶やさずやさしい母親を演じるべきだという呪縛

3)「おかあさんがいない」	単著				からの解放
4)「スマートフォンとの付き合い方」	単著				ひとりで留守番をさせることについて 子どもとスマートファンの使い方について
5)「ひとに迷惑をかけてはいけない」	単著				しつけ言葉が子どものひととのかかわりを縛っていないだろうかと警鐘
6)「嘘をつく」	単著				こうなったらいいなという願望が嘘になってしまうことも。嘘を叱るよりも、こうなったらいいなって思ったんだよねと大人が代弁してみてはという提案

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会 山形県 酒田市	産業教育審議会 酒田っ子すくすく育成会議 酒田市教育委員会	H26 年 4 月～現在 H26 年 4 月～現在 H25 年 11 月～現在 H26 年 4 月～現在	委員 アドバイザー 教育委員 酒田市スクール・カウンセラー
② その他 ＜学会関係＞ 日本キャリア教育学会 ＜教育機関関係＞ 1. 酒田市立看護専門学校 2. 酒田市立十坂小学校 3. 山形大学「社会人力育成山形講座」 4. 酒田市立泉小学校 5. 酒田市立宮之浦小学校 6. 山形県教育センター 7. 宮城県仙台東高校	同左 講義（「人間関係論」） 教員研修 リーダーシップ研修 教員研修 子育て研修会 高等学校初任者研修 出前講座	H22 年 11 月～現在 H26 年 4 月～9 月 H26 年 5 月 26 日 H27 年 2 月 6 日 H26 年 6 月 21 日 H26 年 9 月 16 日、10 月 2 日、 H27 年 2 月 3 日 H26 年 10 月 8 日 H26 年 10 月 16 日 H27 年 2 月 12 日	理事 非常勤講師 講師 講師 講師 講師 講師 講師

＜教育委員会・教育センターなど＞			
1. 酒田市教育委員会学校教育課	不登校保護者会	①H26 年6月5日 ②H26年10月2日 ③H27年1月22日	助言者
2. 酒田市教育委員会社会教育課	わいわい出前講座 (キャリア教育)	H26年9月4日、17日	講師
＜その他の教育機関・施設＞			
1. 酒田市子育て支援課	幼保小指導者研修会	H26年6月26日	講師
2. 庄内町	女性講座「椿ゼミナール コミュニケーション 力 up 講座」 講習会	H26年7月26日	講師
3. 酒田市シルバー人材センター	研修会	H26年7月31日	講師
4. 庄内町幼児担当者研修会	研修会	H26年7月25日	講師
5. 山形県庄内総合支庁	庄内地域若者自立支援 ネットワーク会議	H26年8月1日	助言者
6. 酒田飽海 PTA 連合会母親委員会	研修会	H26年9月30日	講師
7. 酒田市健康福祉部	心の健康づくり教室	H26年10月24日 H26年12月12日 H27年2月18日	講師
8. 山形県	地域若者安心生活構築 推進事業	H26年11月14日	コーディネーター
9. 山形労働局	高校2年生対象職業講話	H27年1月23日	講師
＜看護・福祉関係＞			
1. 東京大学付属病院	院内研修	H26年7月28日	講師
2. 国立国際医療研究センター国府 台病院	院内研修	H26年9月29日	講師
3. 国立精神神経医療研究センター 病院	院内研修	H26年10月27日	講師
4. 埼玉県朝霞看護専門学校	研修	H27年3月9日	講師

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	特任教授 高谷時彦				
1 専門分野、研究テーマ	建築・都市デザイン				
	単・共 著の別	発 行 又 は 発 表 年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担 当 頁 数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他(研究交流)	共(作品掲 載) 共 共	2014 2015 2015 2015	日本建築学会編『建築資料集成都 市再生』丸善 『内川学6』東北公益文科大学公 益総合研究センター 「歴史的建造物を活かしたまちづ くり」 Durham Univ. Prof. Chapman 招聘		建築資料集成への設計作 品掲載 基調講演「歴史に学び未来 を創る公益ビジネス」 東北財務局地域活性化フ ォーラムでの報告 庄内での社会的企業共同 調査、意見交換

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県都市計画審議会 鶴岡市住生活計画委員会 鶴岡市総合計画社会基盤委 員会 鶴岡市景観審議会 鶴岡市歴史的風致維持向上 委員会	2014年4月～	委員長 座長 座長 委員 委員
② その他	酒田市都市政策アドバイザー 酒田市葬斎場設計者選定委 員会	2014年4月～ 2015年3月	

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名		教授 伊藤眞知子				
1 専門分野、研究テーマ		社会学・女性学				
		単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』						
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称)						
4 研究ノート (名称)						
5 資(史)料 (名称)						
6 翻訳 (名称)						
7 学会発表 (名称) 酒田市における 家庭教育の現状と課題		共	平成 26 年 6 月 1 日	第 38 回日本社会教育学会東北・北海道研究集会 (弘前大学)		平成 25 年度大学まちづくり政策形成事業 (酒田市委託) の研究成果のうち、「家庭教育政策の展開」について発表した。共同発表者：竹原幸太、國眼真理子、武田真理子、渡辺暁雄、小関久恵
人材育成の方法としての「聞き書き」に関する領域横断的研究 (地域課題基礎研究中間報告)		共	平成 26 年 12 月 20 日	地域課題解決全国フォーラム in 庄内		地域課題基礎研究の中間報告として、高校生と大学生・若者の学びあい、各領域からの「聞き書き」について報告した。共同発表者：小関久恵、渡辺暁雄
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 「平成 26 年度大学まちづくり政策形成事業～酒田市における家庭教育に関する調査～報告書」 「平成 26 年度地域課題基礎研究〈プロジェクト型〉 人材育成の方法としての「聞き書き」に関する領域横断的研究～「庄内の達人プロジェクト」の実践を通して～報告書」 ③ その他 「家族みんなが笑顔で過ごす		共 共	平成 27 年 2 月 平成 27 年 3 月	東北公益文科大学 東北公益文科大学 聞き書き研究会	6-28, 資料 1-3 3-8, 41-46, 53-73 15	「子育てに対する保護者の意識調査」を実施し、単純集計結果を中心に報告した。共同研究者：國眼真理子、武田真理子、竹原幸太、小関久恵、白旗希実子 高校生が聞き書き実践を行った「庄内の達人プロジェクト」の参与観察および各領域からの研究成果をとりまとめた。共同研究者：遠山茂樹、澤邊みさ子、渡辺暁雄、小関久恵、岸本誠司、奥

ために」	単		庄内町広報『しょうない No. 214』	3	山愼、佐藤裕邦
「飛島の観光、防災とこれから」	単	平成 26 年 6 月 5 日	酒田市立図書館報『光丘』145 号	2	子どもも含めた家族みんなで家事を分担していくことの大切さについて解説した。
「ケアとジェンダー」	単	平成 26 年 8 月 1 日	『診療所だより』医療法人宏友会上田診療所	18	飛島における大学、学生たちの観光や防災に関する活動について報告した。
「仕事と私生活の好循環でゆたかな人生を」	単	平成 27 年 1 月 1 日	庄内町広報『しょうない No. 232』		ケアとジェンダーへの地域における関心の高まりや研究会について述べた。
		平成 27 年			ワーク・ライフ・バランスに関する企業の取り組みの重要性について解説した。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県総合政策審議会 山形県男女共同参画審議会 山形県高齢者虐待防止県民会議 庄内町男女共同参画社会推進アドバイザー 庄内町情報発信研究所 庄内町地域活性化アドバイザー 酒田市少子化対策懇話会	H25 年 4 月～H27 年 3 月 H24 年 12 月～H26 年 10 月、 H26 年 10 月～H28 年 10 月 H26 年 1 月～H28 年 12 月 H26 年 4 月～H27 年 3 月 H26 年 4 月～H27 年 3 月 H26 年 4 月～H27 年 3 月 H26 年 7 月～H26 年 12 月	委員 会長 副会長 アドバイザー 特別研究員 アドバイザー 委員
② その他 (委員等)	山形労働局 山形地方労働審議会 山形地方労働審議会労働災害防止部会 宇都宮大学地(知)の拠点整備事業外部評価会議 酒田市立酒田看護専門学校 特別非営利活動法人あらた 社会福祉法人光風会 生涯学習施設「里仁館」 生涯学習施設「里仁館」運営委員会 みやぎ・やまがた女性交流機構 第 64 次教育研究山形県集会 14 分科会 山形県男女共同参画県民企画事業の事業採択にかかる審査会	H25 年 4 月～H27 年 3 月 H25 年 10 月～H27 年 9 月 H25 年 10 月～H27 年 9 月 H26 年 2 月～H28 年 3 月 H26 年 4 月～H26 年 9 月 H25 年 6 月～H27 年 5 月 H24 年 7 月～H26 年 7 月、 H26 年 7 月～H28 年 7 月 H26 年 4 月～H28 年 3 月 H26 年 4 月～H28 年 3 月 H21 年 8 月～ H26 年 7 月～H26 年 11 月 H26 年 6 月 7 日	労働紛争担当参与 会長 委員 外部評価委員 非常勤講師「家族関係論」 理事 理事 常任理事 委員長 理事 研究協力者 審査委員
(講演等)	女性のためのこころのケア講座 (全 8 回) 女性人材育成事業「生き生きモガジョ養成講座」	H26 年 7 月 19 日、8 月 22 日、9 月 26 日、10 月 25 日、 11 月 21 日、12 月 13 日、 H27 年 2 月 21 日、3 月 7 日 H26 年 7 月 27 日、12 月 14 日	講師 講師

	男女（みんな）のセミナー	H26 年 8 月 25 日	講師
	女性人材育成事業「チェリア塾 in 庄内」	H26 年 9 月 3 日	講師
	提言の広場「女性の活躍促進へ～子育て女性の再就職支援～」	H26 年 9 月 9 日	出演者（収録）
	社会福祉法人光風会職員研修会	H26 年 11 月 14 日	講師
	地域を元気にする女性講座「椿ぜみなー」	H26 年 12 月 21 日	講師
	人づくり・まちづくりセミナー「にかほの 10 年後をつくろう！」	H27 年 1 月 6 日	講師
	男女共同参画公開講座	H27 年 2 月 3 日	講師
	こころのサポーター養成講座・傾聴スキル研修会受講者交流会	H27 年 2 月 17 日	講師
	第 3 回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会	H27 年 2 月 26 日	講師

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 遠山茂樹				
1 専門分野、研究テーマ	イングランド中世史 中世イングランドのフォレスト				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 ガブリエル・ターギット著、 遠山茂樹訳『図説 花と庭園の 文化史事典』	単著	平成 26 年	八坂書房	319 頁＋ 索引 xi	本書は Gabriel Tergit, <i>Flowers through the Ages</i> , London, 1961 の抄 訳である。本書は世界中 のさまざまな地域を視野 に入れた空間軸と、古代 エジプトから現代に至る 時間軸に沿って、植物や 庭園に秘められた歴史の 数々をたどる。本書では 英語版、ドイツ語版には ない植物学の稀覯本や植 物画、絵画などの図版 400 点と詳細な訳注を付 した。
7 学会発表 (名称)					
8 その他 1) 書評 (査読付) 酒井重喜『近世イギリスのフォ レスト政策』(ミネルヴァ書房、 2013 年)	単著	平成 27 年 3 月	『史學雑誌』	96 ～ 105 頁	酒井重喜著『近世イギリス のフォレスト政策』(ミネ ルヴァ書房、2013 年) の 書評
2) 訳書紹介 ガブリエル・ターギット著、 遠山茂樹訳『図説 花と庭園の 文化史事典』(八坂書房、2014 年)	単著	平成 27 年 1 月	『東北公益文科大学 総合研究論集』 第 27 号	7～12 頁	拙訳書『図説 花と庭園の 文化史事典』(八坂書房、 2014 年) の紹介
3) 報告書 人材育成の方法としての「聞き 書き」に関する領域横断的研究 —「庄内の達人プロジェクト」 の実践を通して—	共著	平成 27 年 3 月	東北公益文科大学 聞き書き研究会	101 頁 (分 担 執筆 13 ～19 頁)	文部科学省 東北公益文 科大学、地 (知) の拠点整 備事業、平成 26 年度地域 課題基礎研究 (プロジェク ト型) 報告書

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	酒田市景観審議会	H25年4月～H27年3月（継続中）	会長
	酒田市美術館理事	H25年4月～H27年3月（継続中）	理事
	酒田市図書館協議会委員	H25年4月～H27年3月（継続中）	委員
	鶴岡中央高等学校評議員	H26年4月～H27年3月（継続中）	評議員
	鶴岡中央高等学校学校関係者評価委員会	H26年4月～H27年3月（継続中）	委員
	山形県酒田港風力発電導入検討協議会	H26年8月～現在に至る	会長
② その他		H 年 月～H 年 月	

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	特任教授 山家公雄				
1 専門分野、研究テーマ	エネルギー				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書	単著			頁	
3 学術論文 ※(査読付論文の区別)					
『再生可能エネルギーへの期待 と課題』(査読付)	単著	2014/12	安全工学会／「安全 工学 Vol. 53 No. 6」	10 頁	再生可能エネルギーの期待 と課題について、安全技術 の視点をも踏まえて検証。
『エネルギー政策の国際動向』 (査読付)	単著	2015/3	エネルギー・資源学 会／「エネルギー資 源 Vol. 36 No. 2」	6 頁	米国、中国、ドイツのエネ ルギー政策を検証。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他					
② 専門誌					
② 研究調査報告書 『日本海風力コリドー整備 に向けた提言』	共著	2014/3	東北公益文科大学地 (知)の拠点整備事 業	49 頁	庄内地方、秋田県とする日 本海地方を例に、風力発電 事業開発の課題と対策につ いて 28 の提言を纏める。
③ その他 *日経 BP オンラインに連載 「エネルギー世界の新潮流」	単著	2014～2015 年 度	日経ビジネス	7 頁/回 程度	14 年度は 12 回連載

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会	*山形県総合政策審議会	2013～2014 年度	委員
② その他	*食料・農業・農村政策審議会 企画部会地球環境小委員会	2011 年度～2014 年度	委員

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	特任教授 佐藤 隆也				
1 専門分野、研究テーマ	経営学、販売技術論、「ドラッカーの経営学的思想と松下幸之助経営思想について」				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資（史）料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	・山形県消費生活審議会 ・鶴岡市水道事業経営審議会 ・鶴岡市子ども読書活動推進委員会 ・鶴岡市男女共同参画推進懇談会	H26年10月～H28年9月 H26年7月～H28年6月 H26年7月～H28年3月 H27年3月～H29年2月	委員（公募） 委員（公募） 委員（公募） 委員（公募）
② その他	・山形県食品安全モニター ・遊佐町稲川地区「稲川まちづくり計画」策定事業 ・庄内直売組織連絡会議研修「接客接客セミナー」 ・庄内直売組織連絡会議経営者会議研修 ・庄内町新産業創造協議会研修「商品を売るための販売方法」 ・山形県農業大学校夏季集中講義「販売管理」 ・庄内地域産業振興センター「マーケティング入門」講座 ・庄内地域産業振興センター「ドラッカー読書会」 ・山形県くらし安心課「消費者教育推進セミナー」 ・鶴岡商工会議所「2,3級販売士資格更新講習会」 ・酒田商工会議所『2,3級販売士資格更新講習会』 ・最上地域雇用創造推進協議会「産直における販売戦略講座」	H26年6月～H27年3月 H26年8月～H27年3月 H26年6月11日、19日 H26年12月2日 H26年7月22日、23日 H26年7月22日～29日 H26年12月2日、9日 H26年8月～H27年1月 H26年12月1日 H26年11月21日 H26年12月6日 H26年12月15日	モニター アドバイザー 講師 講師 講師 講師 講師 ファシリテーター パネリスト 講師 講師 講師

	・庄内総合支庁「東北公益文科大学 連携地域ふれあい講座「販売技術 研修」	H26年12月12日	講師
	・庄内総合支庁「東北公益文科大学 連携地域ふれあい講座「個店指導」	H27年3月9日	講師
	・庄内地域産業振興センター「しごと セミナー（販売のしごと）」	H27年3月12日	講師
	・(株)ライセンスアカデミー「職業 別デモ型ガイダンス「販売に関する 仕事」	H26年12月10日	講師
	・(株)ライセンスアカデミー「職業 別説明会「販売・マーケティング」	H27年2月17日	講師
	・(株)ライセンスアカデミー「職業 別体験型ガイダンス「販売関係の 仕事」	H27年2月26日	講師
	・(株)ライセンスアカデミー「職業 理解分科会「ビジネス」	H27年3月4日	講師

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 森 彰夫				
1 専門分野、研究テーマ	国際関係論、国際協力論、多文化共生論				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別)					
1「地方自治体への国際協力からの教訓―地域課題の解決に向けて―」 (査読なし)	単著	平成26年2月	『東北公益文科大学総合研究論集』第25号	pp. 83-103.	国際協力の経験から、地方の衰退や人口減少が著しい東北地方の地方自治体への教訓をまとめた。公共財がすべての人に供給されている社会が公益社会であり、新自由主義的な市場至上主義政策によって格差拡大や一極集中がもたらされてきているなかで、対症的な対策とともにヨーロッパ諸国のように福祉国家への政策やシステムの転換を求めている必要があることを論じた。
2「ウクライナにおけるナショナリズムの暴走」 (査読なし)	単著	平成26年8月	『東北公益文科大学総合研究論集』第26号	pp. 31-62.	2013年12月からのウクライナ危機は、地政学的な分析やパワー・ポリテクス的な分析によって論じられることが多い。それに対して、ヤヌコヴィチ政権がEUとの間で自由貿易協定(FTA)を中核とする連合協定の調印を見送り、ロシアとの関係改善を進める方向性を打ち出したことを契機に、ナショナリズムによって扇動されて起こった危機として歴史的な観点も交えて考察する。独立広場のデモの群集が「ロシア人とユダヤ人を殺せ」と叫んで暴行していたように、オリガーキーの支配に対する国民の不満が、ウクライナ人、ロシア人、ユダヤ人、タタール人の間での民族対立にすり替えられてし

3 「世界市民としてのアイデンティティ―「固有の文化」幻想の超克―（その 1）」（査読なし）	単著	平成 27 年 1 月	『東北公益文科大学総合研究論集』第 27 号	pp, 65-89.	まった。このため、貧困に喘いでいる大多数のウクライナ国民の問題は、解決されるどころかより深刻化し、無益に対立し内戦につながりかねないことを論じた。 アイデンティティをめぐるハーバーマスやテイラーらの議論を整理し、日本人のアイデンティティとして、自然崇拜・祖先崇拜で愛国心育成、儒教で忠君愛国、外来の日本の固有性、宗教からの世俗化、封建制の残滓、近代国家の戦争と宗教を論じた。
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会	遊佐町ハンガリー友好協会	H26 年 4 月～	会員
② その他			

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 温井 亨				
1 専門分野、研究テーマ	建築、まちづくり・むらづくり、風景計画				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文					
4 研究ノート					
5 資（史）料					
6 翻訳					
7 学会発表					
8 その他					
① 専門誌					
● 此川岸に立つ茅屋の一 家族の歴史は如何：無名 の風景をめぐって	単著	2015年2月	ランドスケープ研究 Vol.78、No.4 日本造 園学会	2	東北支部の活動報告
② 研究調査報告書					
● 酒田市まちづくり人材 連携強化事業報告書	単著	2015年3月	東北公益文科大学	28	受託研究の報告書
● 里浜の民家と板倉	単著	2015年3月	宮戸・野蒜地域の文化 遺産の再生・活用検討 実行委員会	5	「奥松島Ⅱ - 自然・景 観・歴史・文化 -」所収
● 山形県茅葺屋根建造物 継承事業調査報告書	共著	2015年3月	山形県建築士会	7	
③ その他					
● アレックス・カー観光講演 会へのお誘い 上	単著	2014年11月	荘内日報	1800字	
● アレックス・カー観光講演 会へのお誘い 上	単著	2014年11月	荘内日報	2200字	

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	● 庄内町中心市街地まちづくり協議会 ● 庄内町振興審議会 ● 酒田市中心市街地活性化協議会 ● 酒田市中心市街地まちづくり協議会 ● 酒田市旧割烹小幡の整備利活用にか かる懇話会 ● 宮城県文化財保護審議会松島部会 ● 東松島市特別名勝松島保存管理検討委員 会 ● 小国町中央地区都市再生整備計画事後評 価委員会	H23年8月～ H24年2月～ H25年2月～ H24年8月～ H26年11月?～ H25年4月～ H25年4月～ H27年3月	アドバイザー 会長 委員 受託研究者 委員 委員 委員 委員長
② その他	● 庄内町地域活性化アドバイザー ● 山形県立庄内総合高等学校学校評議 員 ● 山形県立庄内総合高等学校学校関係 者評価委員 ● 日本造園学会 ● 日本造園学会東北支部 ● 日本造園学会ランドスケープ遺産イ	H22年5月～ H22年5月～ H22年5月～ H25年5月～ H23年10月～ H23年11月～	アドバイザー 評議員 学校関係者評価委員 理事 支部長 委員

- ンベントリー作成委員会 ●日本造園学会企画委員会 ●日本造園学会 CPD 推進委員会 ●日本造園学会 CPD 企画委員会 ●日本造園学会ランドスケープ研究校 関委員 ●庄内銀行庄内価値開発研究会 ●湊町さかた探検隊 ●城下町やまがた探検隊 ●酒田市民大学講座 ●山形県まちづくりミーティング事例 報告 ●宮戸・野蒜地域の文化遺産の再生・ 活用指導委員会 ●山形県茅葺き文化研究会 ●文化財ガイド養成講座 ●湊町さかたの文化的景観セミナー ●酒田みなとまちづくり市民会議 ●茅葺き屋根建造物調査委員会 ●山形県商店街振興組合連合会青年部 活性化推進事業研修会 ●酒田商工会議所理財部会研修会 ●「第 2 次庄内町中心市街地活性化基 本計画」策定に向けた井戸端会議 ●日本海沿岸東北自動車道（遊佐鳥海 IC～県境間）事業景観アドバイザー	H25 年 5 月～ H25 年 5 月～ H25 年 5 月～	委員 委員 委員 校閲委員
	H23 年 9 月～ H25 年 5 月～	メンバー 主宰者、隊長 隊員、発案者
	H26 年 7 月 H26 年 10 月	講師 報告者
	H25 年 7 月～	委員
	H26 年 2 月～ H26 年 10 月	会長 講師
	H27 年 2 月 H27 年 3 月	講師 講師
	H26 年 6 月～H27 年 2 月 H26 年 7 月	副会長 講師
	H26 年 8 月 H27 年 2 月	講師 コーディネーター
	H26 年 10 月～H27 年 3 月	景観アドバイザー

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 水田健輔				
1 専門分野、研究テーマ	公会計、地方財政、高等教育財政、公的組織の経営				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『大学のガバナンス～その特質 を踏まえた組織運営の在り方を 考える～』	共	H26 年 5 月	広島大学高等教育研 究開発センター・高 等教育研究叢書 128 (総頁数：162 頁)	23 頁	担当章「高等教育における ガバナンス研究のフレー ムワーク」(P27～49) 概要：ミクロ組織論および マクロ組織論等の理論的 ツールを大学のガバナン ス研究に応用する視点に ついて考察した。2013 年 12 月 6～7 日に開催された 第 41 回研究員集会におけ る招待講演内容をもとに 加筆したもの。 著者：藤村正司，山本眞 一，水田健輔，村澤昌崇， 大場淳，大膳司，堀井祐 介，大森不二雄，佐々木 一也，秦由美子
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） なし					
4 研究ノート なし					
5 資（史）料 なし					
6 翻訳 なし					
7 学会発表 「米国高等教育機関における教 育コスト情報活用の実態」	単	H26 年 6 月 28 日	日本高等教育学会第 17 回大会（会場：大 阪大学）	—	概要：2013 年 7～11 月に実 施した米国の大学経営に おける教育コスト情報の 活用実態に関する調査結 果を発表した。全米 50 州 の約4分の1の州でコスト 情報の収集・活用を州単位 で行っており、予算配分に リンクさせている州もあ ることが判明した。また、 機関レベルでは、コスト削 減のツールとして使用さ れている実態も明らかと なった。
8 その他 ① 専門誌 「表と裏一備えあれば憂い なし」	単	H26 年 12 月	地方財務, 727 号（ぎ ょうせい），P62～ P67	6 頁	概要：地方行財政に関する 2014 年の 3 大ニュースと して、「地方公会計におけ る統一的な基準の提案」

② 研究調査報告書 『平成 26 年度版 国立大学の財務』 『国立大学における経営・財務運営に関する調査報告書』	単	H27 年 3 月	国立大学財務・経営センター「施設費貸付・交付事業に係る各種調査の指導助言」の一環、本編P1～73, 他全体編集担当	73 頁	「法人実効税率引き下げの決定」「2013 年度決算における健全化判断比率」を取り上げ、それぞれにもとづいて 2015 年の展望をまとめた。
	共	H27 年 3 月	「国立大学における経営・財務運営に関する調査委託事業」(委託元：国立大学財務・経営センター)の最終報告書, 文章頁 88 頁中 P i ～vii, P1 ～ 10, P23 ～ 31, 他全体編集担当	26 頁	概要：全 86 国立大学の 2013 年度決算財務データを分析し、まとめたもの。 概要：全国 86 の国立大学の学長、財務担当理事、監事宛てに質問紙調査を行い、国立大学の経営・財務運営に関する現状を分析した。 分担執筆：金子元久・丸山文裕・山本清・島一則・水田健輔。
③ その他 なし					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会	鶴岡市下水道使用料等審議会	H26 年 7 月～H28 年 6 月	委員
	上山市振興審議会	H27 年 3 月～H28 年 3 月	会長
② その他	日本高等教育学会紀要編集委員会	H23 年 8 月～継続中	委員
	広島大学高等教育研究開発センター	H24 年 4 月～継続中	客員教授
	大学共同利用機関法人人間文化研究機構評価委員会	H19 年 10 月～継続中	委員
	国立大学財務・経営センター「施設費貸付・交付事業に係る各種調査の指導助言」	H26 年 8 月～H27 年 3 月	指導助言
	文部科学省「国立大学等施設の総合的なマネジメントに関する検討会」	H25 年 10 月～H27 年 3 月	委員
	酒田エフエム放送番組審議会	H25 年 10 月～継続中	委員

	会		
	文部科学省「国立大学法人等施設整備に関する検討会・PFI 検討会」	H26 年 4 月～H29 年 3 月	委員
	日本私立大学連盟経営委員会	H26 年 4 月～H28 年 3 月	委員
	香川県自治研修所「公会計研修」	H26 年 11 月 27・28 日	講師
	庄内地域産業振興センター主催・平成 26 年度産業人材育成支援事業・職業能力開発講座「入門！決算書の読み方使い方」	H26 年 11 月 15 日	講師

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名		教授 澤邊みさ子				
1 専門分野、研究テーマ		障害者福祉、障害者雇用、社会福祉				
		単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『社会保障論』		共(土田武 史 編著)	2014 年	成文堂	143-164	社会保障を初めて学ぶ人 を対象としながらも、利労 的内容を備えた社会保障 の教科書を目指して作成 された。 担当部分：「第 7 章 障害 者福祉」
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称)						
4 研究ノート 「東日本大震災後の離島にお ける防災・減災体制のあり方に冠 する研究 - 飛島における住民主 体の防災計画づくりに向けて -」		共（呉尚 浩・伊藤眞 知子・澤邊 みさ子・小 関久恵・岸 本誠司・三 浦巧・渡部 陽子	2014 年 8 月	東北公益文科大学総 合研究論集 第 26 号	73-82	平成 25 年度東北公益文科 大学奨励研究費に採択さ れた同名称の毛共同研究 に基づいて実施した調査 結果とその考察をまとめ たもの。
5 資(史)料 (名称)						
6 翻訳 (名称)						
7 学会発表 「東日本大震災後の離島にお ける防災・減災体制のあり方に冠 する研究 - 山形県酒田市飛島に おける住民主体の防災計画づく りに向けて -		単	2014 年 10 月 5 日	日本公益学会 2014 年度研究大会（専修 大学 神田キャンパ ス）		平成 25 年度東北公益文科 大学奨励研究費に採択さ れた同名称の毛共同研究 に基づいて実施した調査 結果とその考察について 発表。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 平成 26 年度酒田市大学まちづ くり政策形成事業「若者参加に よる防災・減災の仕組みづくり に向けた現状と課題の把握」報 告書		共(小関久 恵、澤邊み さ子、呉尚 浩、武田真 理子、白田 祐司、田澤 輝明)	2015 年 2 月		18-25	「若者参加による防災・減 災の仕組みづくりに向け た課題の把握」を研究テ ーマとして、1. 酒田市日向 地区をモデルにした調査 研究（消防団等の地域防災 の担い手に関するヒアリ ング調査）、2. 学生参加に よる防災・減災研修プログ ラム開発の検討（東北公益 文科大学の大学生を対象 たおした学生研修寮にお ける自主防災活動に関す る調査）、の 2 つの調査を

③ その他 書評『『小さな大国』ニュージーランドの教えるもの	単	2015年1月	東北公益文科大学総合研究論集 第27号	(1)-(5)	実施、その結果を分析したもの。 担当：「Ⅳ 若者参加による防災・減災活動の展開事例」「Ⅴ まとめ」 日本ニュージーランド学会・東北公益文科大学ニュージーランド研究所 編著（論創社、2012年）による同書についての書評。
-----------------------------------	---	---------	---------------------	---------	---

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	山形県介護保険審査会 山形県危険ドラッグ対策検討委員 酒田市障害者施策推進協議会 鶴岡市障害者施策推進協議会 庄内地域福祉有償運送運営協議会 酒田市公益活動推進委員会 山形県立特別支援学校学校評議員 酒田市立浜田小学校学校協議員	H25年4月～H28年3月 H27年2月～H27年12月 H26年1月～H28年3月 H26年4月～H28年3月 H24年4月～ H26年6月～H28年5月 H26年4月～H27年3月 H26年5月～H27年3月	委員 委員長 副会長 委員 委員 委員長 評議員 評議員
② その他	酒田市立看護学校 日本ニュージーランド学会 日本公益学会理事 公益財団法人山形県総合社会福祉基金 酒田市ボランティアセンター運営委員 特定非営利活動法人あらた サポートセンターあおぞら苦情解決委員会 庄内障害者就業・生活支援センター苦情解決委員会 社会福祉法人光風会苦情解決第三者委員会 吹浦荘苦情解決委員会 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会苦情解決第三者委員 障がい者支援施設光風園後援会 酒田市民生委員・児童委	H26年4月～H26年9月 H26年6月～H28年6月 H26年4月～H27年3月 H25年6月～H27年5月 H26年6月～H28年5月 H25年4月～H27年3月 H26年4月～H27年3月 H26年4月～H27年3月 H26年4月～H27年3月 H25年4月～H27年3月 H25年6月～H27年5月 H26年7月10日 H26年9月8日	非常勤講師（「社会福祉」担当） 監事 理事 評議員 委員長 理事 委員 委員 委員 委員 委員 講師 講師

	員協会 青少年部会 講演会 赤ひげ CLUB セミナー 山形県手をつなぐ育成 会 地域活性化事業 講演会	H26 年 9 月 28 日 H26 年 11 月 6 日	シンポジウム・コーディネーター 講師
--	---	--------------------------------------	-----------------------

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 阿部 公一				
1 専門分野、研究テーマ	社会保障・公的年金(特に公的年金政策史・年金教育)				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 「若者と社会を結ぶ年金教育を目指して」 ② 研究調査報告書 ③ その他	単著	平成26年7月	企業年金連合会 『企業年金』 Vol. 33, No7(第 419号)	A4, 34 ~ 35 頁	依頼による寄稿。大学での年金教育の経験により見えてきたことから、高校段階での年金教育の重要性を指摘すると共に、高校公民科の年金教育の現状と課題から、「公共」科目創設の必要性を強調している。また、高校での教科を通じた年金教育と地域からの年金教育(日本年金機構による地域年金展開事業)の相乗効果を高める必要性を指摘している。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市公民館運営審議会	H13年6月～現在	副委員長
② 厚生労働省(年金局事業管理課)	公的年金の分かりやすい情報発信モデル事業検討会	H26年8月～H27年3月	構成員(大臣官房年金管理審議官からの指名) 市町村担当職員向けの業務支援ツールや通信研修ツール、若者を対象にした情報発信ツールの作成に関して、構成員の立場から参加させて頂きました。

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 和田明子				
1 専門分野、研究テーマ	行政学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文					
4 研究ノート (1)「カンタベリー地震復興を めぐる 2014 年の動向」	単独	2015 年 3 月	本学公益総合研究セ ンター『ニュージ ーランド・ノート』第 17 号	pp. 35-47	
5 資 (史) 料					
6 翻訳					
7 学会発表 (1)「公共政策学の新しい教育研 修技法 2」	単独発表	2014 年 6 月	日本公共政策学会 2014 年度研究大会		司会
(2)「Regional Development after a Natural Disaster: Lessons from the Canterbury Earthquake in New Zealand」		2014 年 6 月	日本ニュージーラン ド学会第 21 回研究 大会		Commentator (英語)
(3)「地域課題解決と公益」		2014 年 10 月	日本公益学会第 15 回大会秋季研究大会		座長
(4)「キー政権下の公的部門改革」		2014 年 10 月	日本ニュージーラン ド学会第 69 回研究 会		発表者
(5)「人口減少時代の自治体職員 研修のあり方ー庄内地域におけ る官民連携・協働による地域課 題解決に向けてー (中間報告)」		2014 年 12 月	地域課題解決全国フ ォーラム in 庄内		発表者
(6)「世紀末の NZ 改革を再評価 する」		2015 年 3 月	日本ニュージーラン ド学会第 71 回研究 大会		討論者
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他 (1)「ニュージーランドと公益」	単独	2014 年 9 月	現代公益学会編『東 日本大震災後の公益 学と労働組合』文真 堂	p. 135	

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	総務省東北管区行政評価局政策評価懇談会	H17年6月～現在	委員
	総務省東北管区行政評価局山形行政評価事務所行政懇談会	H17年2月～現在	委員
	山形県防災会議	H25年2月～現在	委員
	山形県県立高校の将来の在り方検討委員会	H22年9月～H26年6月	委員
	山形県行政支出点検・行革推進委員会	H26年4月～現在	委員
	山形県政府調達苦情検討委員会	H22年6月～現在	委員
	山形県明るい選挙推進協議会	H20年5月～現在	委員
	酒田市行財政集中改革プラン推進委員会	H14年7月～現在	委員
	酒田市教育委員会事務の管理及び執行状況に係る点検及び評価	H21年8月～現在	外部評価者
	新庄市市民評価	H22年9月～現在	行政評価アドバイザー
	庄内町行政改革推進委員会	H17年12月～現在	委員
	庄内町教育委員会事務の管理及び進行状況に係る点検及び評価	H23年4月～現在	第二次外部評価者
	庄内町教育振興計画策定協議会	H26年9月～現在	委員
	北上市政策評価委員会	H23年8月～現在	委員
	(財)土門拳記念館情報公開審査会	H22年7月～現在	委員
② その他	日本公益学会監事	H22年9月～現在	監事
	日本ニュージーランド学会理事	H24年7月～現在	理事
	自治体学会査読委員	H24年1月～現在	査読委員
	自治体学会運営委員（全国選出）	H24年8月～現在	運営委員（全国選出）

	自治体学会研究支援部 会員	H26 年 10 月～現在	部会員
	日本公共政策学会 2014 年度研究大会企画委員	H25 年 10 月～H26 年 6 月	企画委員
	日本公共政策学会理事	H26 年 6 月～現在	理事

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	教授 呉 尚浩				
1 専門分野、研究テーマ					
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） （名称）					
4 研究ノート 「東日本大震災後の離島における防災・減災体制のあり方に関する研究—飛島における住民主体の防災計画づくりに向けて—」	共	2014 年 8 月	『東北公益文科大学 総合研究論集』第 26 号	P. 73-82	北海道奥尻島や宮城県網 地島・田代島の被災地調査 の事例をもとに、飛島にお ける防災・減災体制のあり 方について、考慮すべき視 点を提案している。
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 「とびしま未来協議会の挑戦 —公益的な民の力による『離島 振興計画づくり』とその実践—」 （「地域課題全国フォーラム in 庄内」記録集掲載）	共（発表 者）	2014 年 12 月 20 日	文部科学省「地（知） の拠点整備事業」地 域課題解決全国フォー ラム in 庄内		とびしま未来協議会にお ける島民主体の「離島振興 計画」づくりの過程とその 後の計画推進について報 告。
8 その他 ① 専門誌 「山形の自然・ひとに魅せら れて—地域をつくる人を育て る・飛島 14 年間の活動から —」 ② 研究調査報告書 「飛島地域安全安心向上事 業業務委託報告書」（酒田市 受託、国土交通省離島活性化 交付金） ③ その他 受託研究「飛島地域安全安心 向上事業業務委託報告書」 （酒田市受託、国土交通省離 島活性化交付金） 「社会貢献を通じた学生教 育—地域リーダーの育成 —『公益的民の力』を生かし た『飛島の内発的地域づく り』の取り組みを事例とし て」（基調講演） 「庄内の海岸林を次世代に	単 共 共 単 単	2014 年 9 月 2014 年 3 月 2014 年度 2014 年 6 月 19 日 2014 年 12 月	山形教育 371 号 文部科学省「地（知） の拠点整備事業」「大 学 COC 事業シンポジ ウム／島を元気にす る若者たち（広島商 船高等専門学校主催 ／広島県大崎上島） NPO 法人庄内海岸の		学生とともに飛島の島づ くりに関わった14年間を、 教育の視点からまとめた もの。 国土交通省離島活性化 交付金を活用し、酒田市 から受託を受けた事業 についての報告書。島民 研修会・座談会の記録、 飛島の防災・減災につ いての提案と地区防災計 画づくりへの指針を示 した。 近年の飛島における若 者移住とその活躍につ いて、飛島の島づくりの 取り組み経緯に位置づ けて報告。 庄内海岸林保全のここ 15 年の歩みを振りかえ

つなぐーこれからの10年を考える～」(基調講演)		23日	クロマツ林をたたえる会主催「第10回クロマツシンポジウム」		り、今後の10年に向けて提言。
--------------------------	--	-----	-------------------------------	--	-----------------

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	・山形県海区漁業調整委員会委員 ・山形県海岸漂着物対策推進協議会・副会長 ・第6次山形県教育振興計画検討委員会・社会教育・スポーツ専門委員会・座長 ・酒田市環境審議会・専門委員		
② その他	・出羽庄内公益の森づくりを考える会・会長 ・とびしま未来協議会・事務局長 ・美しいやまがたの海プラットフォーム・協働事務局 ・NPO 法人パートナーシップオフィス理事 ・NPO 法人庄内海岸のクロマツ林をたたえる会理事 ・「飛島クリーンアップ作戦」実行委員会委員(2002年度～現在) ・「栗島(新潟県)クリーンアップ作戦」実行委員会・島外委員(2008年度～現在) ・「三島交流会(佐渡島・栗島・飛島)」実行委員会・運営委員(コーディネーター、2007年度～現在) ・「クロマツシンポジウム」実行委員会・運営委員(2004年度～現在、NPO 法人庄内海岸のクロマツ林をたたえる会理事主催) ・「アイランダー2009～2014年」出展(当初、東北公益文科大学飛島ふあんくらぶ出展、2011年度から「とびしま未来協議会」にて出展、池袋サンシャインシティ・文化会館/国土交通省離	H 年 月～H 年 月	

	島振興課、日本離島センター主催) など ・山形県立小国高等学校 「地域文化学」講師		
--	---	--	--

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	教授（平成26年度准教授） 古山 隆				
1 専門分野、研究テーマ	リサイクル工学、「ASRからの有価物の回収に関する研究」				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』	なし				
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） (名称)	なし				
4 研究ノート (名称)	なし				
5 資（史）料 (名称)	なし				
6 翻訳 (名称)	なし				
7 学会発表 (名称)	なし				
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他	なし				

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	・酒田市廃棄物減量等推進 審議会 ・鶴岡市廃棄物減量等推進 審議会	H26年4月～H27年3月 H26年4月～H27年3月	委員 委員
② その他	・資源・素材学会 ・自動車技術会リサイクル部会	H26年4月～H27年3月 H26年4月～H27年3月	編集幹事 幹事

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	教授（平成26年度准教授） 神田直弥				
1 専門分野、研究テーマ	人間工学／交通心理学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資（史）料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称) 自転車運転者の運転行動と交通 事故対策	単	2014	日本人間工学会第55 回大会講演集	34-35	自転車事故防止対策とし て進められている自転車 ナビマークや雨具の課題 を整理した。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	酒田市地域公共交通会 議 国土交通省東北地方整備 局酒田河川国道事務所 「遊佐象潟道路（遊佐鳥 海IC～県境間）事業景観 アドバイザー」	H26年4月～ H26年	副会長 アドバイザー委員
② その他	山形県立鶴岡南高等学校 スーパーサイエンスハイ スクール運営指導委員会 日本交通心理学会編集委 員会	H24年～ H26～	運営指導委員 編集委員

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 佐野治				
1 専門分野、研究テーマ	社会福祉学、ソーシャルワーク論、地域福祉論				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書					
3 学術論文 ※（査読付論文の区別）					
4 研究ノート （名称）					
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 （名称）					
8 その他 研究調査報告書 名古屋市天白区社会福祉協 議会第3次地域福祉活動計画	共著	平成26年5月	名古屋市天白区社会 福祉協議会	1-5 頁	住民主体の地域福祉活動を 推進するための計画におい て、主に制度設計を担当し、 執筆も行った。
長久手市地域福祉計画・長久 手市社会福祉協議会	共著	平成26年9月	長久手市・長久手市 社会福祉協議会	1-58 頁	行政計画である長久手市地 域福祉計画において、具体 的に政策として展開するた め制度設計の全般を担い、 大部分執筆した。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	長久手市地域福祉計画策定委 員会	平成25年4月-26年9 月	委員長
② その他	長久手市社会福祉協議会	平成26年4月-27年3 月	顧問

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 渡辺暁雄				
1 専門分野、研究テーマ	社会学 生活文化論				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称) ・住民参加のまちづくりにおける課題意識の醸成と共有―山形県鶴岡市加茂地区における―	単(査読 無)	平成27年3月	「公益学研 究 Vol.14」日本公益学 会	6 頁	鶴岡市加茂地区でのまち づくり実践において、地 域住民による主体的な課 題の共有や解決が行なわ れてきた過程から、まち づくりにおける多様なス テークホルダーの合意形 成に必要な要件を抽出し、今後のまちづくへの 提言を行なう。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称) ・住民参加のまちづくりにおける合意形成過程 ―山形県鶴岡市加茂地区における	単	平成 26 年 10 月 5 日	日本公益学会		鶴岡市加茂地区でのまち づくり実践において、地 域住民による主体的な課 題の共有や解決が行なわ れてきた過程から、まち づくりにおける多様なス テークホルダーの合意形 成に必要な要件を抽出し、今後のまちづくへの 提言を行なう。
・パネルディスカッション「地域課題解決と公益」	共	10 月 5 日	日本公益学会		学会分科会Ⅱ「地域課題 解決と公益」におけるパ ネリスト。 ＜モデレータ：丸茂雄(先 週大学) パネリスト：

・人材育成の方法としての「聞き書き」に関する領域横断的研究－「庄内の達人プロジェクト」の実践を通して－	共	12月20日	「地域課題解決全国フォーラム in 庄内 2014」(地域課題解決学会設立イベント)		神原理, 飯田義明 (先週大学), 澤邊みさ子, <u>渡辺暁雄</u> >
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ・「加茂地区振興に向けた構想」報告書 ③ その他 ・山形新聞連載「<ことば>の杜へ」	単 単	平成27年3月 ・平成26年4月26日 ・6月21日 ・8月16日 ・10月18日 ・12月13日 ・平成27年2月14日	鶴岡市 山形新聞	25頁 毎回 900 時前後	本学委託業務 連載コラム 映画, 漫画, 歌謡曲などサブカルチャー作品の中で用いられる様々なことば>を社会的に読み解く。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	・酒田市食育推進委員会 ・酒田市社会教育委員 ・第36回豊かな海づくり全国大会専門委員会	H18年12月～ H21年5月～ H26年10月～	委員長 委員 幹事会 (幹事) 及び総務・広報委員会 (委員)
② その他		H 年 月～H 年 月	

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	広瀬 雄二				
1 専門分野、研究テーマ	情報処理				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『実用的 Ruby スクリプティ ング』	単	2014 年 7 月	株式会社カットシ ステム	336 頁	プログラミングの文法学 習を終えて実用的なソフ トウェアの開発を始めよ うとする段階で、プログ ラミング言語の知識だけ でなくシステムやデータ 処理の基本的な性質を、 実験をふまえて理解す るための中級者向け解説書
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他(ソフトウェア) 『YaTeX 1.78』		2014 年 12 月	www.yatex.org	全 35302 行 (改定 分 957 行)	主に理系研究者間で論文 作成に広く利用されてい る LaTeX の入力支援ソ フトウェア

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会			
② その他		H 年 月~H 年 月	

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名		准教授 松山 薫				
1 専門分野、研究テーマ		地理学				
		単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』						
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） （名称） 「戦後日本の人口移動と若年人口移動の動向」（査読なし）		共	2015	東北公益文科大学総合研究論集, 27	91-114	山口泰史（東北公益文科大学）との共著. 戦後日本の人口移動, とりわけ地方圏から大都市圏への移動を概観したうえで, その移動の中心である若年人口の動向を分析した.
4 研究ノート （名称）						
5 資（史）料 （名称）						
6 翻訳 （名称）						
7 学会発表 （名称） 「昭和初期の「大呉市」成立過程」		単	2014	2014 年日本地理学会秋季学術大会（9月 21 日, 富山大学）		いわゆる戦時合併により呉市に編入された賀茂郡広村を事例として, 初めは強く抵抗していた村が, 軍の意向を受けた広島県の強硬な合併圧力の前に編入を余儀なくされる過程を, 地元名望家である村長の評伝の業務録を通して明らかにした.
「昭和初期の鳥瞰図にみる山形県湯野浜温泉周辺の観光資源」		単	2014	2014 年度東北地理学会秋季学術大会（10 月 11 日, 山形大学）		昭和初期に全国の観光地や鉄道沿線の案内図で流行した鳥瞰図（パノラマ図）の形式で画かれた, 鶴岡市や庄内電鉄が発行した観光地図を読み解く. 現存しないものも多い地図中の観光資源について, 他の当時の活字資料を援用しながら, 昭和初期の湯野浜温泉周辺の観光地形成について考察した.
「庄内地域における若者の地元定着の要因と意識構造に関する研究」		共	2014	地域課題解決全国フォーラム in 庄内 2014（12 月 20 日,		山口 泰史（東北公益文科大学・発表者）, 江崎雄治（専修大学）, 渋谷陽一（庄

「日本海から見た庄内ー新たな観光産業の創出を目指した広域連携モデルの構築（鶴岡市加茂・湯野浜地区）」	共	2014	東北公益文科大学) 地域課題解決全国フォーラム in 庄内 2014 (12月20日, 東北公益文科大学)	内総合支庁), 佐藤和徳 (庄内総合支庁) との共同研究). 庄内地域の人口が減少する中, 地元出身の若者が、Uターンも含めてどの程度地元に残るかは, 地域人口の減少を抑制する上で重要な論点である. 親が子どものライフコースをどう考えているかが本人の将来選択にも少なからぬ影響を与えると考える. 渡辺暁雄 (東北公益文科大学), 斉藤友香 (東北公益文科大学大学院・発表者) との共同研究. 鶴岡市加茂地区における公益大のまちづくり活動に関する発表. 本年度は加茂水族館観光客の増大に対し, まち歩き誘導のための「お休み処」を企画し, まちづくりのための計画策定 (鶴岡市) へ参加したほか, 隣接する湯野浜の庄内交通湯野浜線跡地および旧善寶寺駅舎周辺の歴史的資源を活用した交流人口促進について, 加茂地区との連携も考慮しつつ検討した.
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他 「都市住民にも農が必要」 「根拠の薄い主張を危惧 戦争めぐる議論」 「笑顔と活力旅人魅了 高齢者を観光資源に」 「時代の要求映し続ける 旧軍用地の転用」 「白鷹道場 戦時中多くの少年訓練」 「国際化対応 地理重視を 日本史の必修化論」	単 単 単 単 単	2014 2014 2014 2014 2014	河北新報 7月15日 河北新報 8月28日付 河北新報 9月20日付 河北新報 10月18日付 河北新報 11月22日付 河北新報 12月13日	「座標」欄の評論 (以下5件も同様).

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県公共事業再評価 監視委員会委員	H26 年 4 月 1 日～H28 年 3 月 31 日	委員
② その他		H 年 月～H 年 月	

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 武田真理子				
1 専門分野、研究テーマ	社会政策、社会保障、福祉まちづくり（地域福祉）				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） （名称） ・「ニュージーランド・カンタベリー地震」（特集 大規模災害と社会保障(1)）	単 〔依頼論文〕	2014年6月	国立社会保障・人口問題研究所『海外社会保障研究』第187号	pp. 31-44	特集「大震災と社会保障」への投稿依頼論文として、東日本大震災の直前に発生したカンタベリー地震の概要と被災者への生活支援、復興過程について調査、分析を行い、執筆した。
4 研究ノート （名称） ・「生活支援の視点からの復旧・復興」（報告概要）	単	2015年3月	『ニュージーランド・ノート』第17号（特集「カンタベリー地震の復興に学ぶ」）	pp. 18-21	2015年2月11日に開催された東北公益文科大学ニュージーランド研究所シンポジウムの報告内容の概要を記した。
5 資（史）料 （名称）					
6 翻訳 （名称）					
7 学会発表 （名称） ・「生活支援の視点からの復旧・復興」	単	2015年2月11日	東北公益文科大学ニュージーランド研究所シンポジウム「ニュージーランド・カンタベリー地震の復興に学ぶ～庄内地域の防災について考える～」		ニュージーランドの社会保障、社会福祉制度がニュージーランド・カンタベリー地震の被災者の救援、生活再建に対してどのような機能を果たしたかという視点から分析を行い、その成果を発表した。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ・「酒田市における家庭教育支援に関する調査報告書」（平成26年度酒田市大学まちづくり政策形成事業報告書）	共（國眼真理子・伊藤真知子・竹原孝太・小関久恵・白旗希実子）	2015年2月	東北公益文科大学	pp. 41-48	平成25年度より3年計画で取り組んでいる共同研究の一環として、酒田市内の子育て世帯（1500世帯）を対象に実施したアンケート調査の結果、分析を報告書にまとめたもの。特に質的調査、分析の部分を担当執筆した。

・「平成 26 年度鶴岡市第一学区『誰も孤立させない絆づくりプロジェクト』調査報告書」	共（澤 邊 み さ 子、 「地域福 祉 演 習 Ⅰ・Ⅱ・ Ⅲ・Ⅳ」受 講生）	2015 年 3 月	東北公益文科大学	pp. 5-34 、 pp. 81-90、 他	COC 事業の平成 26 年度ア クションプロジェクトと して取り組んだ鶴岡市第 一学区における①第一学 区に関するデータ分析、② まちかど調査、③高齢者意 向調査の分析結果を報告 書にまとめたもの。
③ その他 ・「ニュージーランドと日本ー大 震災からの復興に向けて」(巻 頭言)	単	2014 年 6 月	『日本ニュージー ランド学会誌』第 21 巻	pp.1-2	『日本ニュージーランド 学会誌』第 21 巻の巻頭言 として、2011 年に両国で 発生した大地震からの復 興過程について共通点、相 違点を述べたもの。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	山形県教育委員会 山形県議会個人情報保護運 営審議会 山形県 NPO 推進委員会 山形県立酒田光陵高等学校 酒田市認可外保育施設審議 会 酒田市子ども・子育て会議 「子育てするなら山形県」 推進協議会 鶴岡市地域コミュニティ活 性化推進委員会 鶴岡市住民自治組織ステッ プアップ事業補助金審査 委員会 庄内地域高齢者見守り・支 え合い活動推進会議 遊佐町教育委員会事務点 検・評価 川西町の高齢者見守りを考 えるワークショップ	H26 年 5 月～H28 年 5 月 H25 年 3 月～H29 年 2 月 H25 年 8 月～H27 年 7 月 H24 年 4 月～H27 年 3 月 H20 年 4 月～H28 年 6 月 H25 年 11 月～H27 年 11 月 H24 年 2 月～H 年 月 H25 年 3 月～H27 年 3 月 H26 年 6 月～H26 年 12 月 H25 年 4 月～H 年 月 H26 年 6 月 H26 年 11 月～H27 年 2 月	社会教育委員 委員 委員長 評議員・評価委員 会長 会長 委員 会長 審査員 アドバイザー 点検・評価員 ファシリテーター
② その他	日本ニュージーランド学会 公益教育研究会 山形県社会福祉協議会 社会福祉法人正覚会 社会福祉法人あすなろ福祉 会 川南地域ネットワーク連絡 会 福祉サービス第三者評価事 業評価機関運営・評価調 査者 ※講演については省略	H22 年 6 月～H28 年 6 月 H17 年 9 月～H 年 月 H25 年 7 月～H27 年 7 月 H18 年 6 月～H28 年 5 月 H24 年 8 月～H28 年 8 月 H22 年 12 月～H 年 月 H17 年 12 月～H 年 月	理事（学会誌編集担当） 副会長 監事 監事 評議員 委員 評価機関運営・評価調査者

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 西村まどか				
1 専門分野、研究テーマ	素粒子物理、超弦理論				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 □ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 □ 専門誌 □ 研究調査報告書 □ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員／委員長等)
1 県・市町村の委員会	酒田市教育委員会中村 ものづくり事業運営委 員会	H 26.4.1 - H.27.3.31	運営委員
2 その他		H 年 月～H 年 月	

東北公益文科大学

記載例

著書、学術論文等の名 称	単著 共著 の別	発行又は発 表の年月	発行所、発 表雑誌等又 は発表学会 等の名称	概 要
(著書)				

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名		准教授 鎌田 剛				
1 専門分野、研究テーマ		地域医療連携、知識経営、医療経営、福祉経営、ソーシャルワーク				
		単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』						
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)						
4 研究ノート (名称)						
5 資 (史) 料 (名称)						
6 翻訳 (名称)						
7 学会発表 (名称) 地 域 医 療 連 携 を 支 え る know-who ネットワークと pull 型知識コミュニティ		共	2014年6月14 日	第16回 日本医療マ ネジメント学会学術 総会		地域医療連携の先進事例を調査し、そのメカニズムについて、知識経営の立場から理論的に説明した。概要は以下のとおり。 地域医療連携の仕組みは、face to face と IT による「場」を基盤とし、そこで培われる人間関係から必要な情報・知識を取り込む形で構築・運営されている。「場」は連携担当者にとって、連携に必要な人間関係と、そこから得られる情報・知識が埋め込まれている know-who ネットワークであり、連携担当者は「場」を、それらを自ら取りにいくことのできる pull 型の知識コミュニティとして育て、活用している。
「顔の見える関係から『一目置く関係へ』—地域医療連携におけるアクター間関係の将来像試論」		共	2014 年 10 月 18 日	日本医療マネジメント学会 第13回東北 連合会・第8回宮城 支部学術集会		地域医療連携の先進事例を調査し、特にアクターの関係性について、知識経営の立場から理論的に説明した。概要は以下のとおり。 地域医療連携の先進地域においては、単に連携相手が誰かを認識できる「顔の見える関係」を超えて、相手の力量に「一目置く関

					係」へと関係性の深化が認められる。各地の地域包括ケアシステムにおいて、医療・介護の知識資源を有効活用するためにも、多職種が互いに「一目置く関係」を育てることが胆要である。
8 その他 ① 専門誌 「地域医療連携をデザインするー理論で分かる良い仕組み」 ② 研究調査報告書 ③ その他	単	2015	日総研出版『地域連携 入退院と在宅支援』2015.3・4月号	pp.51-55	

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会			
② その他	山形県社会福祉協議会 「地域福祉活動計画策定委員会」 庄内地域医療連携の会研修会 平成26年度山形県介護支援専門員専門（更新）研修Ⅱ 東北7県医療連携実務者協議会 本学COC事業「地域課題解決全国フォーラム in 庄内」 鶴岡市 地域福祉リーダー養成研修 高知大学「地（知）の拠点整備事業シンポジウム～COC 全国ネットワーク化事業」 鶴岡・田川高齢者集会研修会「このまちで暮らし続けるために私たちにできること」	H26年4月～H27年3月 H26年7月18日、9月26日、11月28日 H26年10月20日、22日、28日 H26年11月1日 H26年12月20日 H27年2月26日 H27年2月28日 H27年3月14日	山形県地域福祉活動計画策定委員長 講師 講師 ライブ・ディスカッションのコーディネーター パネルディスカッションのコーディネーター 講師 事例発表者 講師

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	准教授 狩野 晃一				
1 専門分野、研究テーマ	専門：歴史英語学、中世ヨーロッパ文学 テーマ：発音の史的変遷 中世英文学とイタリア文学の関連				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『チョーサーと中世を眺めて－ チョーサー研究会20周年記念論 文集』	編集 共著	2014 年	麻生出版	pp. 300-316	1992 年より続くチョーサー研究会発足 20 周年を祝う論文集。筆者は「Bury St Edmunds で写されたウィリアム征服王の Writs について」を担当した。
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) 「The Katherine Group におけるフランス語借入語からみた ‘AB 言語再考－異写本パラレル・テキストを用いて－」(査読なし)	単著	2015 年	『東北公益文科大学 総合研究論集』 第 27 号	pp. 25-42	筆者が所属する Tokyo Medieval Manuscript Reading Group 編のテキストを用いて 13 世紀イングランド中西部方言で書かれた一群の宗教散文の言語についての検証。
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 『チョーサー研究会会報 Bulletin of the Society for Chaucer Studies』第2号	編集	2014 年	チョーサー研究会	I+41pp.	チョーサー研究会の会報。会計報告、9 名の研究発表の要旨、会員業績を掲載した。
6 翻訳 『NOBUAKI FURUYA, 179 WORKS 1979-2013』	監訳	2014 年	建築メディア研究所	抽 出 不 能	建築家・古谷誠章の、最初期から 2013 年までのアンビルトを含むほぼすべての仕事=179 作品を収録した作品集の翻訳
KO MUROBUSHI, WORKS, 1972-2013	共訳	2014 年	Ko & Egde Co.	抽 出 不 能	舞踏家・室伏鴻の 1972 年から 2013 年までの作品集に付された種々のテキストの翻訳。
『シチリア派恋愛抒情詩選－中 世イタリア詞華集』	共訳	2015 年	論創社	抽 出 不 能	十三世紀前葉、シチリア王フェデリコ二世の宮廷に花開いた恋愛抒情詩集。「シチリア派」の詩人らが歌った詩篇はイタリア俗語文学の劈頭をなし、中世ヨーロッパ文学史上の極めて貴重なもの。原典からの翻訳。
7 学会発表 「Tradition and Transition in the Translations of Chaucer's	単独	2014 年	New Chaucer Society, 2014		日本における『カンタベリ物語』翻訳の歴史、変容に

Canterbury Tales in Japan」			Congress、於 Reykjavik, Iceland		についての発表。特に翻訳時期の違いで翻訳語彙が異なることを指摘した。
「New Chaucer Society に参加して」	単独	2014 年	東京大学駒場英語史研究会 於東京大学駒場キャンパス		研究会から招待をうけ、New Chaucer Society での研究発表、学会動向などをまとめて報告した。
「綴り字の分布から発音の変化を探る - OE -ht 中の摩擦音消失を中心に」	単独	2014 年	中世英語英文学会第 30 回全国大会 於 同志社大学（京都）		OE の子音結合 -ht の摩擦音は初期中英語期から消失しはじめる。その方言的な差異をコーパス（LAEME）を利用して調査した結果の報告。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会			
② その他 三川町教育委員会 小中学生を対象とした学習会	三川町教育委員会	H26 年 6 月～H27 年 3 月	講師（英語）

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名		准教授 竹原幸太				
1 専門分野、研究テーマ		児童福祉、司法福祉、教育学、研究テーマ 青少年問題（非行・いじめ等）				
		単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『菊池俊諦の児童保護・児童福祉思想に関する研究－戦前・戦中・戦後の軌跡と現代児童福祉法制への継承（早稲田大学モノグラフ 117）』		単	2015 年 3 月	早稲田大学出版部	pp. 1-226	2012 年に早稲田大学大学院文学研究科より学位授与された学位論文に加筆・修正を加え、2014 年早稲田大学学術研究書出版制度の助成を受けて出版した。
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） （名称） 子どもの権利条約 20 年の成果と課題 少年司法領域－成長発達権の学際研究に向けて（査読無、依頼有）		単	2014 年 12 月	『季刊教育法』No183、エイデル研究所	pp. 55-60	子どもの権利条約日本批准 20 周年と照らし、国内の少年司法の動向を整理した。
子どもの成長発達権保障と少年法問題、2014（査読無、依頼有）		単	2014 年 8 月	『子どもの権利研究』25 号、日本評論社	pp. 22-23	2014 年少年法改正の内容を検討し、成長発達権保障の課題を指摘した。
暴力予防に向けた学校自治の形成と課題－修復的実践の国際動向に学ぶ（査読無、依頼有）		単	2014 年 6 月	『季刊教育法』No181、エイデル研究所	pp. 104-109	修復的実践の国際動向を整理し、学校における修復的実践の骨格について解説した。
4 研究ノート （名称）						
5 資（史）料 （名称）						
6 翻訳 （名称）						
7 学会発表 （名称） 青少年問題対策の変遷と子どもの権利保障の課題－非行・いじめ問題を中心に		単	2015 年 2 月	青森家庭少年問題研究会 2014 年度第 2 回学習会（於弘前大学）		1980 年代以降のいじめ・非行対策の構図を整理し、子どもの権利保障の課題を報告した。
教護院における教育権保障の歴史的考察－戦前少年教護界の「児童の権利」論との連続・非連続		単	2014 年 11 月	日本社会福祉学会第 62 回秋期大会（於早稲田大学）		科研費研究の中間報告として、戦後の教護院における教育権保障の論争を概観した。
第 7 分科会学校における紛争解決教育－修復的司法の原理に学ぶ		共	2014 年 8 月	日本司法福祉学会 15 回大会（於追手門学院大手前中等学		同分科会を企画。いじめ防止対策推進法等の動きを司法福祉論の観点から

酒田市における家庭教育支援の現状と課題	共	2014 年 6 月	校) 第 38 回日本社会教育学会東北・北海道研究集会（於弘前大学）		整理し、話題提供として諸外国の修復的司法の動向を紹介した（竹原幸太・宿谷晃弘・五十嵐弘志・田中圭子）。
児童福祉法制定期における「児童の権利」論の思想的考察	単	2014 年 5 月	第 42 回社会事業史学会（於長崎純心大学）		酒田市からの受託研究の 1 年次調査を踏まえ、社会教育研究における学びの公共性とそれを支える条件整備論につき報告した（竹原幸太・伊藤眞知子・國眼眞理子・武田眞理子・渡辺暁雄・小関久恵）。
8 その他 ① 専門誌 少年法「改正」に現れる子ども不信—子どもの成長発達を支える大人の姿勢を問い直す査読無、依頼有） ② 研究調査報告書 平成 26 年度大学まちづくり政策形成事業—酒田市における家庭教育支援に関する調査研究（報告書） ③ その他 読書案内 エリザベス・ベック／ナンシー・P・クロフ／パメラ・ブラム・レオナルド編（林浩康監訳）『ソーシャルワークと修復的正義』	単 共 単	2014 年 8 月 2015 年 3 月 2014 年	『子ども白書 2014』本の泉社 東北公益文科大学総合研究論集、26 号	pp. 146-148 pp. 34-40, 資料 pp. 83-92	2014 年少年法改正に現れる子どもへの不信観について解説した。 國眼眞理子・伊藤眞知子・武田眞理子・竹原幸太・白旗希美子・小関久恵による共同調査。報告書では、家庭教育のニーズ調査の自由記述に関わる整理及び第 38 回日本社会教育学会東北・北海道研究集会報告資料を整理した。 同書の全体概要及び翻訳を担当した 9・10 章について、現代の家族・刑事政策の課題と照らして紹介した。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	鶴岡市社会福祉協議会法人後見委員会	2013 年 4 月～2015 年 3 月	委員
	酒田市小・中学校区改編審議会	2013 年 12 月～2014 年 12 月	委員

② その他	援助の道具として看護倫理を活用するために（酒田市立酒田看護専門学校卒業記念講演）	2015年3月5日	講師
	第9回庄内地区里親及び七窪思恩園合同懇談会（社会的養護をめぐる近年の動向について）	2015年2月19日	助言者
	少年司法におけるケースワーク機能再考（山形家裁鶴岡支部家裁調査官研修）	2014年12月5日	講師
	患者の権利保障をめぐる諸問題（庄内余目病院倫理研修）	2014年11月21日	講師
	対話による非行問題解決—修復的司法（第一回スーパーサイエンスハイスクール特別講義、岩手県立水沢高校）	2014年9月12日	講師
	体罰をめぐる問題—「指導」なのか？「暴力」なのか？（Haguro Youth Meeting、羽黒高校）	2014年7月31日	講師
	家庭教育とは何か？親子が共に育ち合う知恵を育む（浄徳幼稚園保護者講座）	2014年6月21日	講師
	少年事件と子どもの権利条約対話—子どもの権利条約のこれまでと未来を語る（主催子どもの権利条約総合研究所）	2014年5月17日	コメンテーター

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	特任講師 中原 浩子				
1 専門分野、研究テーマ	観光				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※ (査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他					
① 専門誌					
地域農業情報誌『農村通信』 連載「庄内に魅せられて」	単著	2014/偶数月	農村通信社	1 頁	庄内地域の農業・農村を題材とした提言やエッセイ
月刊誌『ビッグライフ 21』 連載「庄内の風にのせて」	単著	2014/7 -2015/1	ビッグライフ社	1 頁	庄内地域から俯瞰した提言やエッセイ
月刊誌『企業診断 2014 年 7 月号』 連載「おもてなしの本質を考える」	共著	2014/7	株式会社同友館	4 頁	マニュアルを超えたおもてなしの神髄
機関紙『山形教育 371 号』 特集「山形に生きる」	単著	2014/9	山形教育研究会	2 頁	真の日本人を育てる教育論
機関紙『Future SIGHT 66 号』 「地域の光に気づき、それを輝かせて地域活性化を」	単著	2014/秋	フィディア総合研究所	2 頁	観光面からの地域活性化の提言
酒田市図書館報『光丘』 寄稿「庄内に魅せられて」	単著	2015/2	酒田市立図書館	1 頁	地域活性化に向けた提言
酒田市広報誌 「ジオパークリレーコラム」	単著	2015/3	酒田市	1/2 頁	観光の側面から見た鳥海山・飛鳥ジオパーク構想
② 研究調査報告書					
『酒田おもてなし隊活動記録集 ～JR酒田駅とコラボした山形DC の夏 2014』	単著	2014/3	東北公益文科大学	32 頁	山形 DC を契機に結成された酒田おもてなし隊の活動記録 (観光客聞き取り調査結果を含む)
③ その他					
山形新聞提言『山形 DC - 学生の成長』	単著	2014/9	山形新聞	1 頁	酒田おもてなし隊活動から見た観光施策への提言

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	山形県観光審議会 山形県地域アドバイザー 鳥海山・飛鳥ジオパーク構想推進協議会設立準備会 酒田市農林水産まつり自作おにぎりコンテスト 鳥海山・飛鳥ジオパーク構想推進協議会	2012～2014 年度 2013～2015 年度 2014 年度 2014 年度 2014 年度～	委員 委員 アドバイザー 審査員 アドバイザー

	酒田市社会福祉協議会公益法人審査会	2014 年度	審査員
② その他	マルカ安全協力会講演会	2014/4	講師
	庄内工業技術振興会総会講演	2014/5	講師
	東北観光推進機構東北ブランド戦略会議	2014/6	委員
	やまぎんすこやか倶楽部講演会	2014/6	講師
	株式会社リサイクルセンター役員会講演	2014/6	講師
	立谷沢地区振興会むらづくり探検隊事前学習会	2014/6	講師
	立谷沢地区振興会むらづくり探検隊研修視察	2014/7	講師
	山形県消防協会庄内支部研修会	2014/7	講師
	酒田市教育委員会市民大学講座（5 回）	2014/9-10	講師
	生涯学習施設「里仁館」講義	2014/9	講師
	庄内総合支庁「地域ふれあい講座」（5 回）	2014/9-2015/2	講師
	酒田駅・陸羽西線 100 周年記念講演会	2014/9	講師
	大学コンソーシアム出張講義	2014/9	講師
	余目ライオンズクラブ 2014 例会講演	2014/9	講師
	県立酒田光陵高校授業「公益と産業社会」	2014/9	講師
	山形県国民健康保険団体連合会いつわ会庄内ブロック研修会	2014/10	講師
	オークネット講演会	2014/10	講師
	遊佐町商工会女性部講演会	2014/10	講師
	JA 庄内みどり女性部講演会	2014/11	講師
	JR 東日本新潟支社サービス品質研究会	2014/11	発表者
	にかほ市人づくり・まちづくりセミナー	2014/11	講師
	酒田市雇用創造協議会観光おもてなしセミナー（3 回）	2014/12	講師
	山形新聞「観光立県への道を探る意見交換会」	2014/12	対談者
	農村通信社読者交流会記念講演	2014/12	講師
	尾花沢市第 40 回女性のつどい記念講演	2015/2	講師
	山形観光アカデミー観光地域づくり人材育成講座	2015/2	講師
	遊佐町保育園講演会	2015/2	講師
	JR 東日本本社サービス品質研究会	2015/3	オブザーバー
	最上地域政策研究所実地研修	2015/3	講師
	酒田市松山地区健康フェスタいきいき講演	2015/3	講師
	JA 庄内みどり女性部広野虹の会講演会	2015/3	講師
	もがみ地域観光ボランティアガイド協議会公開研修会	2015/3	講師
	酒田倫理法人会講演	2015/3	講師

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	講師 斉藤 徹史				
1 専門分野、研究テーマ	法学				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート 「市立病院建替基本設計業務委託入札に係る行政文書の開示請求に対し、予定価格等を不開示とした処分が違法とされた事例(青森地裁平成19年12月7日判決)」[査読あり]	単著	2014 年	『会計と監査』 65 巻 4 号	42-47 頁	標題の判決について、判例研究を行ったもの。
「競争入札への参加の禁止、参加資格の取消し、指名停止は、いずれも行政処分にあたらない。入札参加資格を有することの確認を求める公法上の当事者訴訟が不適法とされた事例(東京高裁平成24年2月28日判決)」[査読あり]	単著	2014 年	『会計と監査』 65 巻 9 号	46-52 頁	標題の判決について、判例研究を行ったもの。
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 「競争入札への参加の禁止、参加資格の取消し、指名停止は、いずれも行政処分にあたらない。入札参加資格を有することの確認を求める公法上の当事者訴訟が不適法とされた事例(東京高裁平成24年2月28日判決)」	単独	2014 年 7 月	日本財政法学会 第 41 回財政法判例 研究会		上記研究ノートの内容を報告したもの。
「住民が、市がした委員会の委員らに対する謝礼の支払は、違法な公金の支出にあたり、各委員は、市に対して、受領した謝礼相当額を不当利得として返還する義務があるとして、市長に対し、各委員らに不当利得返還請求権を行使するよう求めた件につき、委員会を要綱で設置したことは違法・無効であり、各委員の委嘱に瑕疵があったというべきであるが、各委員の謝礼	単独	2014 年 10 月	東北大学 公法判例研究会		標題の判決について、判例報告を行ったもの。

の受領は法律上原因がない利得にあたらな _い として、一審判決が支持され、控訴が棄却された事例(東京高裁平成23年9月15日判決)」					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会	岩手県政策評価委員会 岩手県県民協働型評価企画選定	平成26年～ 平成27年3月	委員 審査員
② その他			

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名		特任講師 山口泰史			
1 専門分野、研究テーマ		人口地理学, 若者の地元定着			
		単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) 戦後日本の人口移動と若年人口 移動の動向 (査読無)		共	2015 年 1 月	東北公益文科大学 総合研究論集 (第 27 号)	91-114 地方圏から大都市圏への 人口移動のうち, 20~30% は高卒者の進学・就職移動 であり, その傾向は過去 40 年ほとんど変化してい ないことを実証した。(松 山薫・本学准教授と連名)
4 研究ノート (名称)					
5 資 (史) 料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 東北地方の市町村における高齢 者世帯の将来動向ー2040 年の 推計からー		単	2014 年 10 月	東北地理学会秋季学 術大会 (山形大学)	推計結果をプレスリリー スしたところ, マスメディ アによって記事の見出し や内容に特徴がみられる ことが明らかになった。
庄内地域における若者の地元定 着の要因と意識構造に関する研 究【地域課題基礎研究中間報告】		共	2014 年 12 月	地域課題解決全国フ ォーラム in 庄内 (東 北公益文科大学)	若者の地元定着に関して 「親の意識」に着目した研 究は極めて少ないことか ら, 本研究でアンケート調 査を行い明らかにする。 (江崎雄治, 松山薫, 渋谷 陽一, 佐藤和徳との連名)
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他 連載記事「歴史を語る建物たち」 秋田編 12『北鹿ハリストス正教 会曲田福音聖堂』 (秋田県大館市)		単	2014 年 4 月	フィデア総合研究所 『Future SIGHT』 64 号	12-13 木造建築物の大敵である 白アリの駆除は, 自由の女 神 (米ニューヨーク) など と同じ商品システムを導入 しているエピソードなど を紹介。
連載記事「歴史を語る建物たち」 庄内編 1『日和山六角灯台』 (酒田市)		単	2014 年 7 月	フィデア総合研究所 『Future SIGHT』 65 号	12-13 市民の寄付により, 解体し て移転復元するのではな く, ウインチなどでそのま ま移転場所まで運んだエ

連載記事「歴史を語る建物たち」 庄内編 2『(株) 庄内測量設計舎』 (庄内町)	単	2014 年 10 月	フィデア総合研究所 『Future SIGHT』 66 号	12-13	ピソードなどを紹介。 新社屋の建設を予定していたところ、当時の社長の母校である小学校が廃校・解体されると知ったことから、校舎の一部を移転して新社屋にしたエピソードなどを紹介。
連載記事「歴史を語る建物たち」 庄内編 3『小野太右衛門商店』 (酒田市)	単	2015 年 1 月	フィデア総合研究所 『Future SIGHT』 67 号	12-13	酒田大火の際にはバケツリレーで建物をわざと水浸しにして、建物から先の延焼を防いだエピソードなどを紹介。
プレスリリース研究『東北地方 市町村の世帯数将来推計 (2040 年)』	単	2014 年 9 月			研究結果は地方紙 5 紙で記事になった他、NHK 山形ニュースで放映され、共同通信の配信記事を全国 36 紙が Web ニュースとして掲載した。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務 (委員／委員長等)
① 県・市町村の委員会			
② その他 (研修等)	新庄市行政課題研修 タイトル「地域人口の将来と新庄市定住促進策の方向性」	H26 年 11 月 12 日	講師
(会議等)	酒田地区雇用対策協議会・高校卒業予定者地元定着に関わる会議 タイトル「酒田市における若年人口の地元定着に向けた考え方」	H26 年 8 月 21 日	有識者

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名		特任教授 皆川 治				
1 専門分野、研究テーマ		地域資源活用・地域活性化				
		単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』						
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称)						
4 研究ノート (名称)						
5 資(史)料 (名称)						
6 翻訳 (名称)						
7 学会発表 「地域力を結集した地域資源のフル活用により人口減少に立ち向かう」		単著	2014/7	地域活性学会	4 頁	小水力発電を事例とし、地域活性化のための課題を考察。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 「日本海風力コリドー整備に向けた提言」 ③ その他 「庄内Uターン日記」		共著	2014/3	東北公益文科大学地(知)の拠点整備事業	49 頁	庄内や秋田等の日本海での風力発電事業推進の課題と対策として 28 項目を提言。
		単著	2014/8～	時事通信社 Agrio	1 頁/回	2014 年度は 4 回掲載。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田駅周辺地区グランドデザイン検討懇談会 (2014 年 6 月～)	2014 年度	委員
	鶴岡市都市再興市民懇話会	2014～2015 年度	委員
② その他		H 年 月～H 年 月	

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	講師 山本裕樹				
1 専門分野、研究テーマ	物理学、素粒子論、インターネット望遠鏡				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称) 「Converging low energy expansion of nucleon-nucleon scattering based on the Wilsonian renormalization group analysis」(査読無し)	共著	2014 年	PoS Hadron 2013		π 中間子を含む核子系有効理論において、長距離相互作用を摂動的、短距離相互作用を非摂動的に取り扱う方法を用いて、二核子弾性散乱のS波で最低次の次の次数までの計算を行い、Nijmegen のデータでfitした結果が収束することを示した。
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称) 「いつでも・どこでも・だれでも天体観測」 「山形県鶴岡南高校での研究」	共同出展 単独、口頭	2014 年 2015 年	サイエンスアゴラ 2014 (科学技術振興機構) 第5回慶應義塾インターネット望遠鏡シンポジウム(慶應義塾大学自然科学センター)		鶴岡南高校と共同でブースを出展し、インターネット望遠鏡とそれを利用した取り組みについて紹介。 鶴岡南高校の鶴南ゼミにおける「インターネット望遠鏡を用いたセファイド変光星の観測」についての報告。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務(委員/委員長等)
① 県・市町村の委員会	酒田市環境審議会	H26 年 11 月～H28 年 8 月	専門委員
② その他	大学コンソーシアムや まがた 企画会議 慶應義塾大学自然科学 センター	H26 年 4 月～H27 年 3 月 H26 年 4 月～H27 年 3 月	委員 共同研究員

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名		講師 白旗 希実子				
1 専門分野、研究テーマ		教育社会学、専門職論				
		単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』						
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称)						
1. イギリスにおける専門職の 実践適合性 (Fitness to practise) 検討プロセス— The Health and Care Professions Council の実践 よりー (査読有)		共著	2014 年 7 月	産業教育学研究 第 44 巻第 2 号	pp. 9-17	本論文の目的は、イギリス における専門職の規制機 関であるHCPCが実施する、 実践適合性の検討プロセ スとその意味を明らかに することである。その結 果、HCPC の実践適合性のプ ロセスは、専門職団体のみ に任せず、公衆の視点も取 り込んだ上で、重層的に専 門職の品質を判断するシ ステムであることが明ら かとなり、専門職の品質保 証に実質的内容を与える という意味合いも持ち合 わせている可能性が示唆 された。
2. 教員のスクールソーシャル ワーカーに対するニーズ調 査 (査読なし)		共著	2015 年 1 月	東北公益文科大学総 合研究論集第 27 号	pp. 43-63	教員のスクールソーシャ ルワーカーに対するニー ズは、業務はイメージで きないものの、「発達障害」 「児童虐待」「保護者への 支援」に関する事柄を中心 に存在していると考えら れる。また、教員とは異な る立場からの家庭へのア プローチを教員が少な からずスクールソーシャ ルワーカーに期待している 部分もあるのではない かということが示唆された。
4 研究ノート (名称)						
5 資 (史) 料 (名称)						
6 翻訳 (名称)						
7 学会発表 (名称)						
1. イギリスにおける専門職教 育プログラムの承認プロセ ス		共同	2014 年 6 月	日本高等教育学会 第 17 回大会		HCPC に登録を義務付けら れている 16 の専門職の教 育機関に対して、HCPC が設

ーThe Health and Care Professions Councilに着目してー 2. イギリスの栄養士養成制度と質保証 3. イギリスにおける医療福祉系専門職の継続的能力・職能開発ー Continuing professional developmentに着目してー	共同 共同	2014年11月 2015年3月	第1回 日本栄養改善学会東北支部学術集会 東北教育学会第72回大会		けている「教育訓練の基準」及びその「承認・モニタリングプロセス」を明らかにするとともに、これらを持つ意味を政府・専門職団体・教育関係団体（教育機関・教育評価機関）・公衆の側面から考察した。 イギリスにおける栄養士の養成制度と質保証の仕組みについて調査検討をおこなった。規制機関、職能団体、病院（実習先）、養成校が密接に連携しながら栄養士の養成を行い、養成段階及び登録後においても専門職としての質保証を行っている。 HCPCのCPD基準及び内容と、それらが規制する専門職の質保証においてどのような役割を果たすのかを明らかにすることを目的とした。その結果、CPDの内容は、主に職場に必要とされる知識・技術に依存するものとなると考えられる。そして職場で決められた研修をおこないながら、多様な研修の中からニーズに合うものを選択し、自己研鑽を積み上げていくものと考えられる。
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 1. 平成26年度 大学まちづくり政策形成事業 ～酒田市における家庭教育支援に関する調査～報告書 ③ その他	共同	2015年3月		pp. 6-33	Ⅲ アンケート調査結果（数量的分析）

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	酒田市小・中学校学区改編審議会	H26年12月27日から H27年12月26日	委員
② その他 ＜出張講義＞ 「生涯学習とは」等	天真学園高等学校	H26年10月20日 H26年11月10日	講師

<審査員> 「第 53 回県少年の主張大会ーいま伝えたい私のメッセージ」 庄内ブロック大会	山形新聞、山形放送、山形県防犯協会連合会、山形県青少年育成県民会議 主催	H26 年 9 月 12 日	審査員
--	---	-----------------------	------------

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	講師 小関 久恵				
1 専門分野、研究テーマ	社会福祉学、社会福祉教育				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※(査読付論文の区別) (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資(史)料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 平成26年度 大学まちづくり 政策形成事業「酒田市における 家庭教育支援に関する調査」 平成26年度 大学まちづくり 政策形成事業「若者参加による 防災・減災の仕組みづくりに向 けた現状と課題の把握」 ③ その他	共 共	平成27年2月 平成27年2月	酒田市 酒田市	p34-40 全編に 渡り執 筆。	本調査研究は、「子ども・子育て支援新制度」の開始に向けたこの時期に、改めて「家庭教育」に取り組む保護者の意識やニーズを把握するとともに、制度の実施に向けた課題や期待される事項を整理し、行政(子育て支援課にとどまらない関係各課の専門的で総合的な支援)、NPO、保育園、幼稚園、学校、地域社会などの社会資源が有効に機能するよう提言を行うことを目的としている。 「若者参加による防災・減災の仕組みづくりに向けた現状と課題の把握」を共通の研究テーマとして、 1. 酒田市日向地区をモデルにした調査研究、2. 学生参加による防災・減災研修プログラム開発の検討、 以上2つの調査を実施した。

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会			
山形県立酒田西高等学校	学校評議員会	平成 24 年 5 月～	学校評議員
山形県社会福祉審議会	民生委員審査及び地域福祉専門分科会	平成 25 年 4 月～	委員
山形県地方港湾審議会		平成 24 年 8 月～	委員
山形県鶴岡養護学校 学校評議員	学校評議員会	平成 25 年 4 月～	学校評議員
① その他		H 年 月～H 年 月	

東北公益文科大学

平成26年度研究業績調書

職位 氏 名	特任講師 西田みづ恵				
1 専門分野、研究テーマ	総合政策学、高大地域連携による短期地域人材育成プログラムの探究				
	単・共 著の別	発行又は 発表年	発行所、発表雑誌 学会等の名称	担当 頁数	概 要
2 著書 『 』					
3 学術論文 ※（査読付論文の区別） (名称)					
4 研究ノート (名称)					
5 資（史）料 (名称)					
6 翻訳 (名称)					
7 学会発表 (名称)					
8 その他 ① 専門誌 ② 研究調査報告書 ③ その他					

9 社会貢献	委員会等名称	年 限	職務（委員／委員長等）
① 県・市町村の委員会	藤沢市青少年問題協議 会	2015年度～2016年度	委員
② その他		H 年 月～H 年 月	

東北公益文科大学